

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		Word 基礎		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ）			
開講時期 Term		前期	配当年次	1 年		実務経歴 / Work Experiences 設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験。			
授業形態		演習	単位区分	必修					
授業回数 Number of Classes		17 回	授業時間 Class Hours	4 単位時間					
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
実務経験をもとに業務上起こりうる状況を提示。実務をイメージして作業を薦め、演習形式で指導する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
一人一台のパソコンを使用し、実際に操作して運用能力を向上させる。仮定の状況に対してビジネス文書やポスターを実際に作成する。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
日本語入力による Word の基本的な操作ができるようになる。ビジネス文書の構造を理解し、基本的なビジネス文書が作成できるようになる。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		オリエンテーション							
第 2 週/ Week 2		第 1 章 文字の入力、Word の概要							
第 3 週/ Week 3		第 1 章 文字の入力、Word の概要							
第 4 週/ Week 4		第 2 章 文書の作成							
第 5 週/ Week 5		第 2 章 文書の作成							
第 6 週/ Week 6		第 2 章 文書の作成							
第 7 週/ Week 7		第 3 章 文書の編集							
第 8 週/ Week 8		第 3 章 文書の編集							
第 9 週/ Week 9		第 3 章 文書の編集							
第 10 週/ Week 10		第 4 章 表のある文書の作成							
第 11 週/ Week 11		第 4 章 表のある文書の作成							
第 12 週/ Week 12		第 4 章 表のある文書の作成							
第 13 週/ Week 13		総合問題							
第 14 週/ Week 14		総合問題							
第 15 週/ Week 15		総合問題							
第 16 週/ Week 16		総合問題							
第 17 週/ Week 17		これまでのまとめ 前期試験							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
FOM 出版 『よくわかる Microsoft Word2024&Microsoft Excel2024 &Microsoft PowerPoint2024/Office2024/Microsoft365 対応』									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス				2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	Excel 基礎		担当教員	氏名/Name	
			Instructor	実務経験（有）	
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experiences	
授業形態	演習	単位区分	必修	設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験。	
授業回数 Number of Classes	9 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
実務経験をもとに業務上起こりうる状況を提示。実務をイメージして作業を薦め、演習形式で指導する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
一人一台のパソコンを使用し、実際に操作して運用能力を向上させる。情報処理検定表計算 3 級相当の能力を習得し、試験問題を何度も繰り返すことで実際に運用できるようになる。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語入力による Excel の基本的な操作ができるようになる。情報処理検定表計算 3 級に合格できるようになる。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	第 5 章 Excel の概要				
第 2 週/ Week 2	第 6 章 データ入力				
第 3 週/ Week 3	第 7 章 表の作成				
第 4 週/ Week 4	第 8 章 グラフの作成				
第 5 週/ Week 5	第 9 章 データの分析				
第 6 週/ Week 6	第 9 章 データの分析				
第 7 週/ Week 7	情報処理検定表計算 3 級対策問題				
第 8 週/ Week 8	情報処理検定表計算 3 級対策問題				
第 9 週/ Week 9	学習内容の振り返り、試験実施				
第 10 週/ Week 10					
第 11 週/ Week 11					
第 12 週/ Week 12					
第 13 週/ Week 13					
第 14 週/ Week 14					
第 15 週/ Week 15					
第 16 週/ Week 16					
第 17 週/ Week 17					
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
FOM 出版 『よくわかる Microsoft Word2024&Microsoft Excel2024 &Microsoft PowerPoint2024/Office2024/Microsoft365 対応』					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		PowerPoint 基礎		担当教員	氏名/Name
				Instructor	実務経験（有）
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experiences 設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験。	
授業形態	演習	単位区分	必修		
授業回数 Number of Classes	8 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 実務経験をもとに業務上起こりうる状況を提示。実務をイメージして作業を薦め、演習形式で指導する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 一人一台のパソコンを使用し、実際に操作して運用能力を向上させる。学内のプレゼン大会に向けての資料を実際に作成し、PowerPoint の運用能力を身につける。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本語入力による PowerPoint の基本的な操作ができるようになる。5 分程度のプレゼンテーションにおける資料を作成し、プレゼンテーションを行うことができるようになる					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	第 10 章 PowerPoint の概要				
第 2 週/ Week 2	第 11 章 プレゼンテーションの作成				
第 3 週/ Week 3	第 12 章 スライドショーの実行				
第 4 週/ Week 4	プレゼン大会資料作成				
第 5 週/ Week 5	プレゼン大会資料作成				
第 6 週/ Week 6	プレゼン大会発表準備				
第 7 週/ Week 7	プレゼン大会クラス内発表				
第 8 週/ Week 8	学習内容の振り返り、試験実施				
第 9 週/ Week 9					
第 10 週/ Week 10					
第 11 週/ Week 11					
第 12 週/ Week 12					
第 13 週/ Week 13					
第 14 週/ Week 14					
第 15 週/ Week 15					
第 16 週/ Week 16					
第 17 週/ Week 17					
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material FOM 出版 『よくわかる Microsoft Word2024&Microsoft Excel2024 &Microsoft PowerPoint2024/Office2024/Microsoft365 対応』					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	日本語能力試験対策 I		担当教員 Instructor	氏名/Name 齋
				実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	4 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
過去問題を使用した出題の傾向と対策。解答と解説を行ったうえで確認テストを行い実力を養う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日本語能力試験 N1 レベル合格。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	語彙・文法			
第 2 週/ Week 2	聴解・読解			
第 3 週/ Week 3	語彙・文法			
第 4 週/ Week 4	聴解・読解			
第 5 週/ Week 5	語彙・文法			
第 6 週/ Week 6	聴解・読解			
第 7 週/ Week 7	語彙・文法			
第 8 週/ Week 8	聴解・読解			
第 9 週/ Week 9	語彙・文法			
第 10 週/ Week 10	聴解・読解			
第 11 週/ Week 11	語彙・文法			
第 12 週/ Week 12	聴解・読解			
第 13 週/ Week 13	語彙・文法			
第 14 週/ Week 14	聴解・読解			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『新完全マスターN1 語彙』『45 日間で完全マスターN1 文法総まとめ』『ドリル&ドリル N1 聴解』				
『ニュースの日本語 聴解 50』『ドリル&ドリル N1 読解』				
『読解厳選テーマ 10』（中上級）『ドリル&ドリル N1 文法』『新完全マスター聴解』 N1『試験に出る読解』 N1				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		日本語能力試験対策Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・ <u>後期</u>	配当年次	1 年・ <u>2 年</u>	実務経歴 / Work Experience	
授業形態	<u>講義</u> ・演習・実習	単位区分	<u>必修</u> ・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	4 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 過去問題を使用した出題の傾向と対策。解答と解説を行ったうえで確認テストを行い実力を養う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本語能力試験 N1 レベル合格。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	語彙・文法				
第 2 週/ Week 2	聴解・読解				
第 3 週/ Week 3	語彙・文法				
第 4 週/ Week 4	聴解・読解				
第 5 週/ Week 5	語彙・文法				
第 6 週/ Week 6	聴解・読解				
第 7 週/ Week 7	語彙・文法				
第 8 週/ Week 8	聴解・読解				
第 9 週/ Week 9	語彙・文法				
第 10 週/ Week 10	聴解・読解				
第 11 週/ Week 11	語彙・文法				
第 12 週/ Week 12	聴解・読解				
第 13 週/ Week 13	語彙・文法				
第 14 週/ Week 14	聴解・読解				
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『新完全マスターN1 語彙』『45 日間で完全マスターN1 文法総まとめ』『ドリル&ドリル N1 聴解』 『ニュースの日本語 聴解 50』『ドリル&ドリル N1 読解』 『読解厳選テーマ 10』（中上級）『ドリル&ドリル N1 文法』『新完全マスター聴解』 N1 『試験に出る読解』 N1					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		ビジネス日本語 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（ 有 ・ 無 ）	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
実務で起こりうる事例をあげ、対応策を検討させる					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
ビジネスシーンでの事象に対して、1 対 1、1 対多でのやりとりを学ぶ					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
いろいろな業界で利用可能な対応方法を学ぶことで企業の 1 社員としての役割を果たせる準備ができています。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	第 1 課 アポイントメント				
第 2 週/ Week 2	第 1 課 アポイントメント				
第 3 週/ Week 3	第 1 課 アポイントメント				
第 4 週/ Week 4	第 2 課 業務引き継ぎ				
第 5 週/ Week 5	第 2 課 業務引き継ぎ				
第 6 週/ Week 6	第 2 課 業務引き継ぎ				
第 7 週/ Week 7	第 3 課 面会して交渉する				
第 8 週/ Week 8	第 3 課 面会して交渉する				
第 9 週/ Week 9	第 3 課 面会して交渉する				
第 10 週/ Week 10	第 4 課 個人客からの苦情（1）				
第 11 週/ Week 11	第 4 課 個人客からの苦情（1）				
第 12 週/ Week 12	第 4 課 個人客からの苦情（1）				
第 13 週/ Week 13	第 5 課 個人客からの苦情（2）上司に引き継ぐ				
第 14 週/ Week 14	第 5 課 個人客からの苦情（2）上司に引き継ぐ				
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『人を動かす！実戦ビジネス日本語会話 上級』					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ビジネス日本語Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期 後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	2単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
実務で起こりうる事例をあげ、対応策を検討させる				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
ビジネスシーンでの事象に対して、1対1、1対多でのやりとりを学ぶ				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
いろいろな業界で利用可能な対応方法を学ぶことで企業の1社員としての役割を果たせる準備ができています。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	第6課 トラブル処理（1）			
第2週/ Week 2	第6課 トラブル処理（1）			
第3週/ Week 3	第7課 トラブル処理（2）上司への報告			
第4週/ Week 4	第7課 トラブル処理（2）上司への報告			
第5週/ Week 5	第8課 謝絶する			
第6週/ Week 6	第8課 謝絶する			
第7週/ Week 7	第8課 謝絶する			
第8週/ Week 8	第9課 インタビュー・取材			
第9週/ Week 9	第9課 インタビュー・取材			
第10週/ Week 10	第10課 議論する			
第11週/ Week 11	第10課 議論する			
第12週/ Week 12	第11課 プレゼンテーション			
第13週/ Week 13	第11課 プレゼンテーション			
第14週/ Week 14	まとめ			
第15週/ Week 15	後期テスト実施			
第16週/ Week 16	テスト返却と解説			
第17週/ Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『人を動かす！実戦ビジネス日本語会話 上級』				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	コミュニケーションスキル I		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年 2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
言葉や文化の壁を越えて、海外人材が日本の職場で活躍するためのビジネスマナー、コミュニケーションの技術を学ぶ。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
グローバル人材ビジネス実務検定 4 級～3 級合格を目標とする。				
一年生で学んだ日本企業、日系企業で働く上で知っておくべきマナーやルールの総合的復習。				
基礎を踏まえた応用力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	接遇の基本項目① 第一印象、身だしなみ			
第 3 週/ Week 3	接遇の基本項目② 表情、目線、あいさつ、お辞儀			
第 4 週/ Week 4	コミュニケーション① 接遇の言葉遣い			
第 5 週/ Week 5	コミュニケーション② 接客英語 基本マナー、基本用語			
第 6 週/ Week 6	コミュニケーション③ 接客英語 質問			
第 7 週/ Week 7	コミュニケーション④ 接客英語 お詫び、お断り			
第 8 週/ Week 8	接遇の基本③ 姿勢、動作「歩き方、指し示し」			
第 9 週/ Week 9	接遇の基本④ 物の受け渡し ほか			
第 10 週/ Week 10	敬語① 敬語の用法、種類			
第 11 週/ Week 11	敬語② 尊敬語、謙譲語、丁寧語			
第 12 週/ Week 12	敬語③ クッション言葉、助詞、会話の方法			
第 13 週/ Week 13	社会人としての心構え①			
第 14 週/ Week 14	ビジネスマナー①			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
グローバル人材検定公式テキスト 一般社団法人グローバル人材キャリア支援協会				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	コミュニケーションスキルⅡ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	：実務経歴 / Work Experien
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
言葉や文化の壁を越えて、海外人材が日本の職場で活躍するためのビジネスマナー、コミュニケーションの技術を学ぶ。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
グローバル人材ビジネス実務検定4級～3級合格を目標とする。				
日本企業、日系企業で働く上で知っておくべきマナーやルールの総合的復習。基礎を踏まえた応用力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	オリエンテーション			
第2週/ Week 2	社会人としての心構え①			
第3週/ Week 3	社会人としての心構え②			
第4週/ Week 4	社会人としての心構え③			
第5週/ Week 5	ビジネスマナー①			
第6週/ Week 6	ビジネスマナー②			
第7週/ Week 7	ビジネスマナー③			
第8週/ Week 8	クレーム対応①			
第9週/ Week 9	クレーム対応②			
第10週/ Week 10	異文化適応力①			
第11週/ Week 11	異文化適応力②			
第12週/ Week 12	異文化適応力③			
第13週/ Week 13	異文化適応力④			
第14週/ Week 14	これまでのまとめ			
第15週/ Week 15	後期テスト実施			
第16週/ Week 16	テスト返却と解説			
第17週/ Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
グローバル人材検定公式テキスト 一般社団法人グローバル人材キャリア支援協会				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	異文化コミュニケーション演習 I・II		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience 合同会社ジョイント
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	2単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience

この講義は、通常の講義と異なり、学校の中だけで完結するものではなく、個々の学生が、協力企業の業務体験（アルバイトを含む）を行う。それぞれの人生の目標に照らし合わせながら、教室に持ち寄り、グループで自分または仲間の職業適性を相互評価し、専門家の意見も参考にし、幸せな人生設計を行うこととする。

授業概要（学修内容・方法） / Course Description

この授業では、講義の目的が「私」のキャリアデザインであることが、特に強調される。というものの「私」は、これからの人生において、就職の決定、パートナーの決定など、様々な決定の主体である。そのような意味で、「私」は人生の経営者の役割を担っている。また、今日の学生の就職活動は、自分自身の適性よりも、企業の要求に合わせることに重きがおかれ、その結果、2、3年以内の離職率がとても大きな社会問題となっている、さらに、働き方改革もあり、企業は自己都合ばかりを優先できない状況にあり、求職者、雇用者ともに納得する就職の場の提供が望まれている。

このような課題を実現するためには、就職する前に、仕事を通じて、さまざまな仕事の実態を体験し、そのような仕事に対して、学生主体で活動する。学生は興味のある企業の職場で経営者、社員の方々へのヒアリングを行う。そのような実践を通して、「私」がどのような仕事に適性があるのかを授業の場に持ち寄り、周りの人の意見や専門家の意見を聞きながら自分のやりたいことの確認作業を行う。

このような傾向は、今日ますます重要になっている。これまでの時代は、急激な人口増加を元に「大量生産・大量消費」の時代で、世の中の流れにうまく乗れば、成功であるかのような錯覚が蔓延し、「私」の決定はそれほど重要視されてこなかった。しかし、これからの人口減少時代は、国内マーケットだけでは生き残れない、大企業に就職すれば、一生安心といった時代ではなくなった。海外マーケットも見ながら、マスマーケットではなく、一人一人の消費者に寄り添った、事業展開が望まれ、そのような時代対応できる人が望まれている。

具体的な、授業内容は、初回の講義で私から、講義の設計思想と、学生主体の運営のグループ作成を行う。また学生同士の自己紹介の時間をとり、異文化コミュニケーションの重要性を理解してもらう。

二回目の授業は、今回最も重要な授業になっている。植松電機の植松努社長による講義で、多くの学生が自分自身の可能性に蓋を解放する。誰もが「どうせ無理」と思っている宇宙ロケットのモデルを実際に作って、飛ばすことにより、学生すべての人の可能性がなんの制約もないことを実感してもらう。

三回目で、今後の基本的な動き方のデモンストレーションを行う。課外活動は、守破離という基本理念をもとに行動する。まずは「守」として、インターン先企業やアルバイト先などの企業の経営者、社員、顧客、仕入れ先などの方々の話を徹底的に聞き、正確にビジネスプランを把握し、理解することに努める。この段階では学生は自分の考えを排除し、インターンシップ先の話は肯定的に受け入れ、信頼関係を築くことに注力する。しかし、どんなに肯定的に受け入れても、心の中では受け入れられない考えがある。これは「破」であり、そこから問題点を抽出し、インターン先への改善案の提出、また自分自身がどのようなキャリアを描きたいのかという「離」の活動を行う。四回目ではこの説明を行う。また同時に、日本人学生と留学生の合同グループを作り、自己紹介・他己紹介を行い、発表の仕方や自分自身の蓋を開放することを行う。

四回目と五回目では、テーマ先となる企業からの説明をいただく。その後、「私はどの企業を研究したいか」を選択してもらう。

六回目以降からは、守破離の実践を行ったものを発表していく時間となる。具体的には、株式会社ジェイ・エス・ビーや株式会社ふくやをはじめ、地元企業や関西の企業のご協力をいただき、企業研究などを通じて、日頃から企業がどのような課題に向き合い、解決しているのかなどを学び、授業の場で発表を行う。

このように、業務の中で直面した課題や自分の適正に関する悩みなどを木曜日の講義の時間に共有し、学生同士で解決していく関係を構築する。また定期的に地元企業の経営者の方を授業にお迎えして、これまでの人生論などをお話いただき、「私」のキャリアデザインに向けたお話を取り入れる。

授業目的・到達目標 / Course Objective 自立し、幸せな人生を送るための仕事と生き方の基本を学ぶ。 心にある「どうせ無理」をなくし、自信を育み、自主的にかつ協調性を持ちながら行動する能力を身につけている。(態度・志向性) 社会や企業、身の回りの状況を把握し、その問題の原因を究明し、解決策を立案する能力を身につけている。(技能) 専門的な知識の習得のために、専門家を探し、面会の許可を取るなどして、実地調査を行うことができる。(技能) 実地調査を通して、研究成果を論理的な文章にまとめ、それを他者にも分かりやすく説明できる能力及び討論できる能力を身につけている。(技能)	
週	授業計画 / Course Schedule
第1週/ Week 1	オリエンテーション（講義の目的、到達目標の説明）
第2週/ Week 2	植松電機様（植松社長講演、ロケット教室）
第3週/ Week 3	守破離の説明、自己紹介・他己紹介ワーク
第4週/ Week 4	テーマ先企業説明会①
第5週/ Week 5	テーマ先企業説明会②
第6週/ Week 6	守の調査手順（テーマ先企業の講義の振り返り）
第7週/ Week 7	テーマ先と信頼関係を築く理由①
第8週/ Week 8	テーマ先と信頼関係を築く理由②
第9週/ Week 9	中間発表①
第10週/ Week 10	市場調査の方法①
第11週/ Week 11	市場調査の方法②
第12週/ Week 12	問題解決の手順
第13週/ Week 13	守から破に変わる時とは①
第14週/ Week 14	守から破に変わる時とは②
第15週/ Week 15	期末発表①
第16週/ Week 16	期末発表②
第17週/ Week 17	前期のまとめ
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material	
成績評価 / Evaluation 定期試験は行いません。基本的には、評価は、学生の自己評価、相互評価をもとに、学生の希望者からなる評価委員会が成績評価の素案を作ります。 出席点 30%、平常点 30%、期末発表 40%を基準として成績評価を行います。なお、欠席は低評価の要因となります。	
備考 / Memo	

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	異文化コミュニケーション演習 I・II	担当教員 Instructor	氏名/Name	
			実務経験（有・無）	
開講時期 Term	前期 後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience 合同会社ジョイント
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	2単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience

この講義は、通常の講義と異なり、学校の中だけで完結するものではなく、個々の学生が、協力企業の業務体験（アルバイトを含む）を行う。それぞれの人生の目標に照らし合わせながら、教室に持ち寄り、グループで自分または仲間の職業適性を相互評価し、専門家の意見も参考にし、幸せな人生設計を行うこと目的とする。

授業概要（学修内容・方法） / Course Description

この授業では、講義の目的が「私」のキャリアデザインであることが、特に強調される。というもの「私」は、これからの人生において、就職の決定、パートナーの決定など、様々な決定の主体である。そのような意味で、「私」は人生の経営者の役割を担っている。また、今日の学生の就職活動は、自分自身の適性よりも、企業の要求に合わせることに重きがおかれ、その結果、2、3年以内の離職率がとても大きな社会問題となっている、さらに、働き方改革もあり、企業は自己都合ばかりを優先できない状況にあり、求職者、雇用者ともに納得する就職の場の提供が望まれている。

このような課題を実現するためには、就職する前に、仕事を通じて、さまざまな仕事の実態を体験し、そのような仕事に対して、学生主体で活動する。学生は興味のある企業の職場で実際の業務体験や経営者、社員の方々へのヒアリングを行う。そのような実践を通して、「私」がどのような仕事に適性があるのかを授業の場に持ち寄り、周りの人の意見や専門家の意見を聞きながら自分のやりたいことの確認作業を行う。

このような傾向は、今日ますます重要になっている。これまでの時代は、急激な人口増加を元に「大量生産・大量消費」の時代で、世の中の流れにうまく乗れば、成功であるかのような錯覚が蔓延し、「私」の決定はそれほど重要視されてこなかった。しかし、これからの人口減少時代は、国内マーケットだけでは生き残れない、大企業に就職すれば、一生安心といった時代ではなくなった。海外マーケットも見ながら、マスマーケットではなく、一人一人の消費者に寄り添った、事業展開が望まれ、そのような時代対応できる人が望まれている。

具体的な、授業内容は、課外活動で学んできたことを授業で共有し、発表していく授業が中心となる。課外活動については、守破離という基本理念をもとに行動していく。まずは「守」として、インターン先企業やアルバイト先などの企業の経営者、社員、顧客、仕入れ先などの方々の話を徹底的に聞き、正確にビジネスプランを把握し、理解することに努める。この段階では学生は自分の考えを排除し、インターンシップ先の話は肯定的に受け入れ、信頼関係を築くことに注力する。しかし、どんなに肯定的に受け入れても、心の中では受け入れられない考えがある。これは「破」であり、そこから問題点を抽出し、インターン先への改善案の提出、また自分自身がどのようなキャリアを描きたいのかという「離」の活動を行う。具体的な企業としては、株式会社フジシタや株式会社かわなべをはじめ、地元企業の協力をいただき、業務体験などを通じて、日頃から企業がどのような課題に向き合い、解決しているのかなどを学び、授業の場で発表を行なう。

2026年1月からの講義は、再び株式会社植松電機の植松努社長とZoomを繋ぎ、3回ワークショップを実施する。具体的には、植松社長のこれまでの経営経験や人生観を通じた「仕事とは」「国家とは」「社会とは」などのテーマごとに講演をいただき、そのテーマごとに話し合いを行うワークショップを通じて、これからどんな人生を歩んでいけばいいのか考えていく時間とする。最後には期末発表にて、1年間の講義を通じて、「これから私はどんな人生を歩んでいきたいのか」というテーマで発表し、「私」のキャリアデザインを完成させる。

授業目的・到達目標 / Course Objective

自立し、幸せな人生を送るための仕事と生き方の基本を学ぶ。

心にある「どうせ無理」をなくし、自信を育み、自主的にかつ協調性を持ちながら行動する能力を身につけている。（態度・志向性）

社会や企業、身の回りの状況を把握し、その問題の原因を究明し、解決策を立案する能力を身につけている。（技能）

専門的な知識の習得のために、専門家を探し、面会の許可を取るなどして、実地調査を行うことができる。（技能）実地調査を通して、研究成果を論理的な文章にまとめ、それを他者にも分かりやすく説明できる能力及び討論できる能力を身につけている。（技能）

週	授業計画 / Course Schedule
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション（講義の目的、到達目標の説明）
第 2 週/ Week 2	ビジネスモデルと企業戦略の立案方法
第 3 週/ Week 3	ビジネスモデル構築について①
第 4 週/ Week 4	中間発表①「課題解決に向けて」
第 5 週/ Week 5	ビジネスモデル構築について②
第 6 週/ Week 6	問題解決とアイデア創出
第 7 週/ Week 7	ビジネスモデルキャンバス
第 8 週/ Week 8	中間発表②「課題解決のプラン」
第 9 週/ Week 9	解決プランブラッシュアップ①
第 10 週/ Week 10	解決プランブラッシュアップ②
第 11 週/ Week 11	解決プランブラッシュアップ②
第 12 週/ Week 12	植松社長講演
第 13 週/ Week 13	植松社長講演
第 14 週/ Week 14	期末発表①
第 15 週/ Week 15	期末発表②
第 16 週/ Week 16	植松社長講演
第 17 週/ Week 17	1 年間のまとめ
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material	
成績評価 / Evaluation 定期試験は行いません。基本的には、評価は、学生の自己評価、相互評価をもとに、学生の希望者からなる評価委員会が成績評価の素案を作ります。 出席点 30%、平常点 30%、期末発表 40%を基準として成績評価を行います。なお、欠席は低評価の要因となります。	
備考 / Memo	

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		異文化コミュニケーション I		担当教員 Instructor	氏名/Name
開講時期 Term		前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経験（有・無） 実務経歴 / Work Experience
授業形態		講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes		17回 / 34回	授業時間 Class Hours	1単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 異文化コミュニケーションの基礎知識と理論を学び、グループワークやディスカッションの中で実践。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 異文化の中での就労を目指す人材として、自分自身への誤解また、自分からの周囲に対しての誤解を生まない知識と実践力を養成する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/ Week 1	オリエンテーション				
第2週/ Week 2	異文化コミュニケーション学について①				
第3週/ Week 3	異文化コミュニケーション学について② ゲーム「百聞は一見に如かず」				
第4週/ Week 4	文化について① ホフステッド、アイスバーグ、自文化中心主義				
第5週/ Week 5	文化について② ケーススタディのディスカッション				
第6週/ Week 6	異文化適応のプロセス① カルチャーショック、Uカーブ、Wカーブ理論				
第7週/ Week 7	異文化適応のプロセス② グループワーク「自分のこれまでの適応モデル」				
第8週/ Week 8	「ステレオタイプ」を探す① 偏見、差別、ヘイトスピーチ 個人ワーク：自分についての質問作成				
第9週/ Week 9	「ステレオタイプ」を探す② 作成した質問を使い、クラスメートにヒアリングしてみる				
第10週/ Week 10	「ステレオタイプ」を探す③ 発見した自分のステレオタイプ				
第11週/ Week 11	文化を比較する① ホフステッドの分析、「自分の文化」の範囲、分析項目				
第12週/ Week 12	文化を比較する② ディスカッション 「アイデンティティ・クライシス」				
第13週/ Week 13	文化を比較する③ 高コンテキストと低コンテキスト、パラ言語				
第14週/ Week 14	前期のまとめ				
第15週/ Week 15	前期テスト実施				
第16週/ Week 16	テスト返却と解説				
第17週/ Week 17	前期の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、PPTのハンドアウトおよび参考資料プリントなど配布					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス				2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	異文化コミュニケーションⅡ		担当教員 Instructor	氏名/Name	
				実務経験（有・無）	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	1単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
異文化コミュニケーションの基礎知識と理論を学び、グループワークやディスカッションの中で実践。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
異文化の中での就労を目指す人材として、自分自身への誤解また、自分からの周囲に対しての誤解を生まない知識と実践力を養成する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/ Week 1	オリエンテーション				
第2週/ Week 2	言語コミュニケーション① 量と質、関連性、マナーの原則				
第3週/ Week 3	言語コミュニケーション② ディスカッション:ケーススタディ「電話の切り方」				
第4週/ Week 4	非言語コミュニケーション① メラビアンの方則、視覚、触覚、嗅覚、聴覚で比較				
第5週/ Week 5	非言語コミュニケーション② デスカッション: ケーススタディ「なぜ、怒っているの？」				
第6週/ Week 6	非言語コミュニケーション③ ジェスチャー、姿勢、パーソナルスペース				
第7週/ Week 7	非言語コミュニケーション④ ゲーム:「なんのジェスチャーでしょう」				
第8週/ Week 8	異文化ビジネスコミュニケーション① 交渉 日米の交渉スタイルの違い、権限の違い				
第9週/ Week 9	異文化ビジネスコミュニケーション② ケーススタディ「アメリカ人上司と日本人部下」				
第10週/ Week 10	異文化ビジネスコミュニケーション③ 衝突 衝突管理と民族の関連、アサーティブスキル				
第11週/ Week 11	異文化ビジネスコミュニケーション④ グループワーク: いじめ				
第12週/ Week 12	異文化ビジネスコミュニケーション⑤ 面子、面子交渉の戦略				
第13週/ Week 13	異文化ビジネスコミュニケーション⑥ 責任、プライベートとパブリック、組織体制				
第14週/ Week 14	後期のまとめ				
第15週/ Week 15	後期テスト実施				
第16週/ Week 16	テスト返却と解説				
第17週/ Week 17	一年間の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
適宜、PPT のハンドアウトおよび参考資料プリントなど配布					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		商業概論 I		担当教員 Instructor		氏名/Name 石崎義則			
						実務経験 (有)・無)			
開講時期 Term		(前期) 後期		配当年次		(1 年)・2 年			
授業形態		講義 (演習)・実習		単位区分		(必修)・選択			
授業回数 Number of Classes		17 回 / 34 回		授業時間 Class Hours		2 単位時間			
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience									
多くの事例を提示することで、実社会での状況との関連付けができるよう指導									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
現実生活を入り口にしながら、日本の経済界の仕組みを知る。グループ活動なども取り入れ、日本社会の大まかな仕組みを理解するとともに自国との違いを明らかにする。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
ビジネスに関する基礎的な知識・技術を習得させ、経済社会で適切に対応していく能力・態度を養う。ビジネスの基本的な仕組みを理解し、一人前のビジネスマンとして日本で働ける実力を育成する。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		授業の説明・目標設定							
第 2 週/ Week 2		日本における経済活動（1）							
第 3 週/ Week 3		世界経済の動向							
第 4 週/ Week 4		日本と世界の経済活動							
第 5 週/ Week 5		商品製造の仕組み							
第 6 週/ Week 6		サービスの提供者として							
第 7 週/ Week 7		グループワーク：自国の仕組みとの違いをディスカッションし、発表							
第 8 週/ Week 8		消費行動							
第 9 週/ Week 9		小売業と卸売業と世界経済							
第 10 週/ Week 10		物流業と金融業と世界経済							
第 11 週/ Week 11		グループワーク：前週、前々週テーマについて自国の特徴をディスカッションし、発表							
第 12 週/ Week 12		情報通信業と世界経済							
第 13 週/ Week 13		世界における日本経済							
第 14 週/ Week 14		グループワーク：世界における自国経済の特徴をディスカッションし、発表							
第 15 週/ Week 15		前期学習全体のまとめ（1）							
第 16 週/ Week 16		前期テスト 実施							
第 17 週/ Week 17		前期テスト 返却と解説							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『ビジネス基礎 新訂版』、ほか適宜レジュメを配布する									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。									
備考 / Memo									

授業科目 Course Title	商業概論Ⅱ		担当教員	氏名/Name 石崎義則
			Instructor	実務経験 (有) ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 企業経験 34 年以上 上場企業子会社 (アメリカ) 社長 8 年
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 多くの事例を提示することで、実社会での状況との関連付けができるよう指導				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 現実生活を入り口にしながら、日本の経済界の仕組みを知る。グループ活動なども取り入れ、日本社会の大まかな仕組みを理解するとともに自国との違いを明らかにする。				
授業目的・到達目標 / Course Objective ビジネスに関する基礎的な知識・技術を習得させ、経済社会で適切に対応していく能力・態度を養う。ビジネスの基本的な仕組みを理解し、一人前のビジネスマンとして日本で働ける実力を育成する。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	授業の説明・目標設定			
第 2 週/ Week 2	日本の経済の仕組み			
第 3 週/ Week 3	グループワーク：自国の経済の仕組みと日本との違いをディスカッションし、発表			
第 4 週/ Week 4	企業の経済活動 (1)			
第 5 週/ Week 5	企業の経済活動 (2)			
第 6 週/ Week 6	日本における法律の仕組み			
第 7 週/ Week 7	企業と法			
第 8 週/ Week 8	グループワーク：前週のテーマについて、自国と日本との違いをディスカッションし発表			
第 9 週/ Week 9	企業と不祥事			
第 10 週/ Week 10	取引の仕組み			
第 11 週/ Week 11	代金決済システム			
第 12 週/ Week 12	売買に関する基礎知識			
第 13 週/ Week 13	グループワーク：前週のテーマについて、自国と日本との違いをディスカッションし、発表			
第 14 週/ Week 14	計算知識の総まとめ			
第 15 週/ Week 15	後期学習全体のまとめ			
第 16 週/ Week 16	後期テスト 実施			
第 17 週/ Week 17	後期テスト 返却と解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『ビジネス基礎 新訂版』、ほか適宜レジュメを配布する				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40% ・出席状況 30% ・授業参加姿勢 30% により判断し、総合点により A ・ B ・ C ・ D ・ F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス			2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	ビジネス契約書 I		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験（ 有 ）
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience 行政書士試験合格、宅建士 専門学校、大学通信教育講師
授業形態	演習	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 企業での実務経験をもとにビジネス契約書の作成方法や必要ルール等を講義・演習方式で行う。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 校内で使われる帳票の適切な書き方から始めることで、帳票類の日本語の意味や書き方のルールを理解する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 帳票にかかわる知識と実践を増やし、『就労時の指示内容、業務上頻出する帳票に関する様々な日本語、帳票の重要性を理解できる力』を養う。また、簿記の知識を学び経営に関する基礎を整える。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	売買取引の手順に沿った書類① 見積依頼書、見積書			
第 3 週/ Week 3	売買取引の手順に沿った書類② 注文書、注文請書			
第 4 週/ Week 4	売買取引の手順に沿った書類③ 納品書、物品受領書			
第 5 週/ Week 5	売買取引の手順に沿った書類④ 請求書			
第 6 週/ Week 6	代金決済の様々な方法			
第 7 週/ Week 7	売買取引の手順に沿った書類⑤ 領収書			
第 8 週/ Week 8	個別ワーク 書類作成			
第 9 週/ Week 9	グループワーク 書類作成			
第 10 週/ Week 10	グループワーク 書類作成			
第 11 週/ Week 11	契約書の作成と押印			
第 12 週/ Week 12	収入印紙			
第 13 週/ Week 13	帳票とは 書類の保存期間			
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material PPT ハンドアウト、プリント配布、実教出版「ビジネス基礎」701 の売買取引の章を参考にする				
成績評価 / Evaluation 定期試験 40%・出席状況 30%・平常点 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス				2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	ビジネス契約書Ⅱ		担当教員	氏名/Name	
			Instructor	実務経験（ 有 ）	
開講時期 Term	後期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience	
授業形態	演習	単位区分	必修	行政書士試験合格、宅建士 専門学校、大学通信教育講師	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
簿記に関する用語をはじめ、原価計算・決算の知識など会社経営についての基礎知識。演習も入れながら、原価計算の基本を理解する					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
帳票にかかわる知識と実践を増やし、『就労時の指示内容、業務上頻出する帳票に関する様々な日本語、帳票の重要性を理解できる力』を養う。また、簿記の知識を学び経営に関する基礎を整える。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション				
第 2 週/ Week 2	決算とは				
第 3 週/ Week 3	資産・負債・純資産 個別ワーク				
第 4 週/ Week 4	財務諸表について				
第 5 週/ Week 5	貸借対照表・損益計算書 個別ワーク				
第 6 週/ Week 6	原価計算① なぜ原価を計算するのか				
第 7 週/ Week 7	原価計算② 「原価」とは				
第 8 週/ Week 8	利益計画① 個別ワーク				
第 9 週/ Week 9	利益計画② CVP 分析 個別ワーク				
第 10 週/ Week 10	利益計画③ 収益の管理（予算実績差異分析）				
第 11 週/ Week 11	製造原価① 分類				
第 12 週/ Week 12	製造原価② 材料費・労務費・経費の計算 個別ワーク				
第 13 週/ Week 13	製造間接費の計算 個別ワーク				
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ				
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
PPT 資料など適宜プリント配布					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・平常点 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	キャリアデザイン I		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期 ・ 後期	配当年次	1 年 ・ 2 年	実務経歴 / Work Experience 設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験。
授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位区分	必修 ・ 選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務において生かせる行動特性を意識できるよう指導する				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 自己分析を経験させる。また企業分析の知識を理解することで 2 年次の就職活動への動機付けとする。面接練習や企業説明会においてのマナーなどの演習も含める				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自分のキャリアを主体的に考えられる力を身につける。企業分析の方法を知り実践できる。 日本企業の仕組みや採用活動の概要を理解し、日本での就労に向けた就職活動を行う力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	自己分析① 「なぜ日本に留学したのか」			
第 3 週/ Week 3	自己分析② 過去・現在・未来の自分について			
第 4 週/ Week 4	自己分析③ 長所・短所			
第 5 週/ Week 5	業界・企業研究① 概要			
第 6 週/ Week 6	業界・企業研究② 事例を基にして、企業研究の方法を知る			
第 7 週/ Week 7	業界・企業研究③ 自国の日系企業を企業研究の実践			
第 8 週/ Week 8	日本企業の特徴① 終身雇用と年功序列、現在の変化			
第 9 週/ Week 9	日本企業の特徴② 雇用形態			
第 10 週/ Week 10	日本企業の特徴③ 海外人材の就労状況			
第 11 週/ Week 11	業界・業種・職種と就労ビザについて			
第 12 週/ Week 12	自己紹介			
第 13 週/ Week 13	他己紹介 他者の長所の説明を通し、自己 PR の効果的な伝え方を考える			
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 外国人留学生のための就職活動テキスト 第 2 版 適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40% ・出席状況 30% ・授業参加姿勢 30% により判断し、総合点により A ・ B ・ C ・ D ・ F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus						
授業科目 Course Title		キャリアデザインⅡ		担当教員 Instructor		氏名/Name					
						実務経験 (有 ・ 無)					
開講時期 Term		前期・後期		配当年次		1 年 ・ 2 年			実務経歴 / Work Experience		
授業形態		講義・演習・実習		単位区分		必修・選択			設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験。		
授業回数 Number of Classes		17 回 / 34 回		授業時間 Class Hours		1 単位時間					
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience											
実務において生かせる行動特性を意識できるよう指導する											
授業概要（学修内容・方法） / Course Description											
自己分析を経験させる。また企業分析の知識を理解することで 2 年次の就職活動への動機付けとする。面接練習や企業説明会においてのマナーなどの演習も含める。											
授業目的・到達目標 / Course Objective											
自分のキャリアを主体的に考えられる力を身につける。企業分析の方法を知り実践できる。											
日本企業の仕組みや採用活動の概要を理解し、日本での就労に向けた就職活動を行う力を養う。											
週		授業計画 / Course Schedule									
第 1 週/ Week 1		オリエンテーション									
第 2 週/ Week 2		日本における採用選考① 新卒採用・中途採用									
第 3 週/ Week 3		日本における採用選考② 履歴書・エントリーシート									
第 4 週/ Week 4		日本における採用選考③ 階層別の選考方法									
第 5 週/ Week 5		海外人材のキャリアパス①									
第 6 週/ Week 6		海外人材のキャリアパス② 日本企業への海外人材の不満、誤解									
第 7 週/ Week 7		自己分析④ 興味関心のある仕事									
第 8 週/ Week 8		履歴書作成①									
第 9 週/ Week 9		履歴書作成②									
第 10 週/ Week 10		面接① 集団面接、面接ロールプレイング									
第 11 週/ Week 11		面接② 個人面接、面接ロールプレイング									
第 12 週/ Week 12		目標設定									
第 13 週/ Week 13		自己管理									
第 14 週/ Week 14		これまでのまとめ									
第 15 週/ Week 15		後期テスト実施									
第 16 週/ Week 16		テスト返却と解説									
第 17 週/ Week 17		2 年次への橋渡し									
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material											
外国人留学生のための就職活動テキスト 第 2 版											
適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布											
成績評価 / Evaluation											
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。											
備考 / Memo											

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		ロジカルシンキング I		担当教員 Instructor	氏名/Name
					実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務経験上の事例をあげ、検討・演習の反復で定着を図る					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 論理的な発想力・読解力・表現力を育成し日本企業内での業務に対応できる力を身につける。また、業務遂行時に必要となる”論理的思考力“の基礎となるよう指導する。演習も含めた反復練習をする。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 採用選考だけにとどまらず、社内社外で論理的でわかりやすい表現（会話、文書とも）を行える基礎力を養成する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション				
第 2 週/ Week 2	発想力練習① 連想できる語彙のリストアップ				
第 3 週/ Week 3	発想力練習② 連想した言葉に関連する語彙				
第 4 週/ Week 4	発想力練習③ 言葉の地図				
第 5 週/ Week 5	個人ワーク→発表				
第 6 週/ Week 6	読解力練習① イラスト読解				
第 7 週/ Week 7	読解力練習② 表・グラフの読み解き				
第 8 週/ Week 8	読解力練習③ 場所や順番の検討				
第 9 週/ Week 9	個人ワーク→発表				
第 10 週/ Week 10	表現力練習① <A は～、B は～> 比較検討				
第 11 週/ Week 11	表現力練習② <A～、一方で B～> 比較検討				
第 12 週/ Week 12	表現力練習③ イラストを見て書く				
第 13 週/ Week 13	表現力練習④ <例えば～> 例を出してみる				
第 14 週/ Week 14	表現力練習⑤ <だから～> 結論をまとめてみる				
第 15 週/ Week 15	前期のまとめ				
第 16 週/ Week 16	前期テスト実施				
第 17 週/ Week 17	テスト返却と解説				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、PPT のハンドアウトおよび必要資料配布 日本語ロジカルトレーニング 初級編・中級編 アルク					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		ロジカルシンキングⅡ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有) ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	1単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務経験上の事例をあげ、検討・演習の反復で定着を図る					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 論理的な発想力・読解力・表現力を育成し日本企業内での業務に対応できる力を身につける。また、業務遂行時に必要となる”論理的思考力“の基礎となるよう指導する。演習も含めた反復練習をする。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 採用選考だけにとどまらず、社内社外で論理的でわかりやすい表現 (会話、文書とも) を行える基礎力を養成する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第1週/ Week 1	オリエンテーション				
第2週/ Week 2	発想力練習④ 連想できる語彙のリストアップ				
第3週/ Week 3	発想力練習⑤ 言葉の地図				
第4週/ Week 4	個人ワーク→発表				
第5週/ Week 5	読解力練習④ 文書を読んで図や表にする				
第6週/ Week 6	読解力練習⑤ 表・グラフ以外の内容の読み解き				
第7週/ Week 7	読解力練習⑥ 立場を置き換えた読解				
第8週/ Week 8	読解力練習③ 理由を考えながらの読解				
第9週/ Week 9	個人ワーク→発表				
第10週/ Week 10	表現力練習⑥ 定義づけ				
第11週/ Week 11	表現力練習⑦ 順序を考えた文章作成				
第12週/ Week 12	表現力練習⑧ 理由を考えた文章作成				
第13週/ Week 13	表現力練習⑨ 論理的な検討と文章作成①				
第14週/ Week 14	表現力練習⑩ 論理的な検討と文章作成②				
第15週/ Week 15	後期のまとめ				
第16週/ Week 16	後期テスト実施				
第17週/ Week 17	テスト返却と解説				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、PPT のハンドアウトおよび必要資料配布 日本語ロジカルトレーニング 初級編・中級編 アルク					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	社会人教養基礎 I		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有)・無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience 行政書士試験合格、宅建士 専門学校、大学通信教育講師
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	1単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 問題への、講義→実践→解答・解説を繰り返し実力の定着を図る				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本において社会人に求められる基礎的学力を養成とともに、就労時に活かせる基礎的知識を育成する。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	オリエンテーション			
第2週/ Week 2	SPIの種類・押さえておくべき知識			
第3週/ Week 3	推論の基礎 (1)			
第4週/ Week 4	推論の基礎 (2)			
第5週/ Week 5	集合の基礎			
第6週/ Week 6	順列・組み合わせの基礎			
第7週/ Week 7	確率			
第8週/ Week 8	損益算			
第9週/ Week 9	分割払い・仕事算			
第10週/ Week 10	速さ・距離・時間			
第11週/ Week 11	割合・比、代金の清算			
第12週/ Week 12	長文・資料読み取り問題			
第13週/ Week 13	非言語問題で必要な知識			
第14週/ Week 14	これまでのまとめ			
第15週/ Week 15	前期テスト実施			
第16週/ Week 16	テスト返却と解説			
第17週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、必要プリント配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	社会人教養基礎Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 行政書士試験合格、宅建士 専門学校、大学通信教育講師
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 問題への、講義→実践→解答・解説を繰り返し実力の定着を図る				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本において社会人に求められる基礎的学力を養成とともに、就労時に活かせる基礎的知識を育成する。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	整数の推測			
第 3 週/ Week 3	グラフの領域			
第 4 週/ Week 4	物の流れと比率			
第 5 週/ Week 5	装置と回路			
第 6 週/ Week 6	言語問題と性格問題に必要な知識			
第 7 週/ Week 7	二語関係			
第 8 週/ Week 8	熟語の知識			
第 9 週/ Week 9	語句の用法			
第 10 週/ Week 10	文の並べ換え、空欄補充			
第 11 週/ Week 11	長文読解			
第 12 週/ Week 12	性格検査			
第 13 週/ Week 13	言語問題と性格問題			
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、必要プリント配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	業界研究 I		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期 ・ 後期	配当年次	1 年 ・ 2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴
授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位区分	必修 ・ 選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	各種の業界・企業からの登壇者による特別授業			
第 3 週/ Week 3				
第 4 週/ Week 4				
第 5 週/ Week 5				
第 6 週/ Week 6				
第 7 週/ Week 7				
第 8 週/ Week 8				
第 9 週/ Week 9				
第 10 週/ Week 10				
第 11 週/ Week 11				
第 12 週/ Week 12				
第 13 週/ Week 13				
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material PPT 適宜、PPT ハンドアウトや企業資料を配布。				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40% ・ 出席状況 30% ・ 授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A ・ B ・ C ・ D ・ F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	業界研究Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年 ・ 2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	各種の業界・企業からの登壇者による特別授業			
第 3 週/ Week 3				
第 4 週/ Week 4				
第 5 週/ Week 5				
第 6 週/ Week 6				
第 7 週/ Week 7				
第 8 週/ Week 8				
第 9 週/ Week 9				
第 10 週/ Week 10				
第 11 週/ Week 11				
第 12 週/ Week 12				
第 13 週/ Week 13				
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、PPT ハンドアウトや企業資料を配布。				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40% ・ 出席状況 30% ・ 授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A ・ B ・ C ・ D ・ F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title			インターンシップ I	担当教員 Instructor	氏名/Name
					実務経験（ 有 ）
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences 企業実務経験	
授業形態	実習	単位区分	選択		
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 企業活動、マーケティング活動に触れる事により、企業経営、業務を理解する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description ゲストスピーカによるスピーチと質疑応答、企業事例での理解、企業現場での実務研修に参加し、企業実務を習得する。※企業一学校間の協議により、実習計画を作成し実践する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本企業の仕組みを理解し、日本での就労に向けた就職先を確定させる力を養う。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション				
第 2 週/ Week 2	ゲストスピーカ①スピーチ&質疑応答				
第 3 週/ Week 3	ゲストスピーカ① 復習				
第 4 週/ Week 4	企業事例①による研究、議論				
第 5 週/ Week 5	企業事例②による研究、議論				
第 6 週/ Week 6	企業事例③による研究、議論				
第 7 週/ Week 7	企業事例④による研究、議論				
第 8 週/ Week 8	企業事例⑤による研究、議論				
第 9 週/ Week 9	ゲストスピーカ②スピーチ&質疑応答				
第 10 週/ Week 10	ゲストスピーカ② 復習				
第 11 週/ Week 11	実践活動に向けて 実際の企業先選定				
第 12 週/ Week 12	実践活動に向けて グループ化				
第 13 週/ Week 13	実践活動に向けて 各グループの役割分担の仮決定				
第 14 週/ Week 14	前期学習内容振り返り				
第 15 週/ Week 15	前期試験実施				
第 16 週/ Week 16	前期試験フィードバック				
第 17 週/ Week 17	後期に実践活動にむけたプランニング				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布					
成績評価 / Evaluation 成績は、試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス				2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	インターンシップⅡ		担当教員	氏名/Name	
			Instructor	実務経験（ 有 ）	
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences 企業実務経験	
授業形態	実習	単位区分	選択		
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 企業活動、マーケティング活動に触れる事により、企業経営、業務を理解する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description ゲストスピーカによるスピーチと質疑応答、企業事例での理解、企業現場での実務研修に参加し、企業実務を習得する。 ※企業一学校間の協議により、実習計画を作成し実践する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本企業の仕組みを理解し、日本での就労に向けた就職先を確定させる力を養う。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション				
第 2 週/ Week 2	選定先企業での実践①				
第 3 週/ Week 3	選定先企業での実践②				
第 4 週/ Week 4	選定先企業での実践③				
第 5 週/ Week 5	選定先企業での実践④				
第 6 週/ Week 6	選定先企業での実践⑤				
第 7 週/ Week 7	選定先企業での実践⑥				
第 8 週/ Week 8	選定先企業での実践⑦				
第 9 週/ Week 9	選定先企業での実践⑧				
第 10 週/ Week 10	企業からの評価結果公開				
第 11 週/ Week 11	評価内容の議論①				
第 12 週/ Week 12	評価内容の議論②				
第 13 週/ Week 13	発表準備				
第 14 週/ Week 14	発表準備				
第 15 週/ Week 15	発表準備				
第 16 週/ Week 16	インターンシップ学習内容の発表①				
第 17 週/ Week 17	インターンシップ学習内容の発表②				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布					
成績評価 / Evaluation 成績は、企業評価 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		総合英語 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
					実務経験 ()
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experience	
授業形態 Course type	講義	単位区分	必修		
授業週数 Number of Weeks	17 週	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences This method is an active communicative approach to learning authentic international English with interactive, classroom-friendly preparation exercises and practice tests.					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description This course is specifically designed for students who want to improve their overall level in international English and measure their performance against an established benchmark: the new TOEIC for entrance to Japanese university.					
授業目的・到達目標 / Course Objective This course is specifically designed for students who want to improve their overall level in international English and measure their performance against an established benchmark: the new TOEIC for entrance to Japanese university.					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	Introductions / Careers, Present simple / present continuous				
第 2 週/ Week 2	Professions, recruitment. Wh-questions				
第 3 週/ Week 3	Job interviews / suffixes				
第 4 週/ Week 4	Workplaces Count / Non count nouns				
第 5 週/ Week 5	Offices / Prepositions of place				
第 6 週/ Week 6	Preparing a job interview				
第 7 週/ Week 7	Cultural training for employees / How + adj / adv				
第 8 週/ Week 8	TOEIC practice test				
第 9 週/ Week 9	Participating in a discussion				
第 10 週/ Week 10	Surveillance in the workplace / Prepositions of place/ time Skimming a text				
第 11 週/ Week 11	Retailing / Shopping Comparative superlatives				
第 12 週/ Week 12	Starting a new business venture / Separable prefix				
第 13 週/ Week 13	Making a product presentation Word stress: verbs/ nouns				
第 14 週/ Week 14	A company profile / Answering tag questions				
第 15 週/ Week 15	Industry / The passive / Synonyms and antonyms				
第 16 週/ Week 16	Industrial problems / Causative verbs				
第 17 週/ Week 17	Final Exam				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Target Score / Charles Talcott, Graham Tullis / Cambridge University press					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 習熟度によりシラバスを適用する。					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		総合英語Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（ ）	
開講時期 Term	後期	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experience	
授業形態 Course type	講義	単位区分	必修		
授業週数 Number of Weeks	17 週	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences This method is an active communicative approach to learning authentic international English with interactive, classroom-friendly preparation exercises and practice tests.					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description This course is specifically designed for students who want to improve their overall level in international English and measure their performance against an established benchmark: the new TOEIC for entrance to Japanese university.					
授業目的・到達目標 / Course Objective The aim of this dynamic syllabus is to ready students to achieve their top score on the TOEIC® and be able to use the language skills they have learned in their professional and personal life.					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	Trade / Future forms				
第 2 週/ Week 2	Idiomatic expressions 1: point				
第 3 週/ Week 3	Markets, shipping, import / Future forms				
第 4 週/ Week 4	Leisure trends Future forms / Relative pronouns / Participles used as adjectives:				
第 5 週/ Week 5	TOEIC practice test				
第 6 週/ Week 6	Entertainment, recreation/ Indirect questions				
第 7 週/ Week 7	Money/ Talking about trends/ Phrasal verbs 1: two-part				
第 8 週/ Week 8	Progress Check				
第 9 週/ Week 9	Personal finance / Modals of possibility				
第 10 週/ Week 10	Talking about trends / Phrasal verbs 1: two-part				
第 11 週/ Week 11	TOEIC practice test				
第 12 週/ Week 12	Environment / Weather report / Indirect speech Idiomatic expressions 2: make and do				
第 13 週/ Week 13	Weather, natural resources, Reporting conversations / Reporting conversations				
第 14 週/ Week 14	Health / Health conversations /Gerund and infinitive forms/ Phrasal verbs 2: three-part				
第 15 週/ Week 15	Nutrition, medicine, fitness / third conditional				
第 16 週/ Week 16	Review				
第 17 週/ Week 17	Final test				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Target Score / Charles Talcott, Graham Tullis / Cambridge University press					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 習熟度によりシラバスを適用する。					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		ビジネス日本語演習 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
					実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を演習も含めて理解する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を学び、演習で理解を深める。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 企業訪問、面接、インターンシップおよび就職内定後の実践での効果を期待する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	1：新人を歓迎する 会話、表現				
第 2 週/ Week 2	演習				
第 3 週/ Week 3	演習				
第 4 週/ Week 4	2：仕事の引き継ぎをする 会話、表現				
第 5 週/ Week 5	演習				
第 6 週/ Week 6	演習				
第 7 週/ Week 7	3 取引先を訪問する 会話、表現				
第 8 週/ Week 8	演習				
第 9 週/ Week 9	演習				
第 10 週/ Week 10	4 営業報告会に出る 会話、表現				
第 11 週/ Week 11	演習				
第 12 週/ Week 12	演習				
第 13 週/ Week 13	前期まとめ 1				
第 14 週/ Week 14	前期まとめ 2				
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「ビジネス日本語 中級」をベースとする。適宜、ハンドアウト配布					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		ビジネス日本語演習Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を演習も含めて理解する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を学び、演習で理解を深める。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 企業訪問、面接、インターンシップおよび就職内定後の実践での効果を期待する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	5 職場の人とランチに行く 会話、表現				
第 2 週/ Week 2	演習				
第 3 週/ Week 3	演習				
第 4 週/ Week 4	6 家族と休みの計画を立てる 会話、表現				
第 5 週/ Week 5	演習				
第 6 週/ Week 6	演習				
第 7 週/ Week 7	7 人材紹介会社の人と会う約束をする				
第 8 週/ Week 8	演習				
第 9 週/ Week 9	演習				
第 10 週/ Week 10	8 人材紹介会社の人と面談をする				
第 11 週/ Week 11	演習				
第 12 週/ Week 12	9 面接を受ける演習				
第 13 週/ Week 13	演習				
第 14 週/ Week 14	後期まとめ				
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「ビジネス日本語 中級」をベースとする。適宜、ハンドアウト配布					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		Excel 応用 I		担当教員 Instructor	氏名/Name
					実務経験（ 有 ）
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences 設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験	
授業形態	演習	単位区分	必修		
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 業務上起こりうる状況を提示し、実務をイメージして作業を進められるよう指導する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 日本情報処理検定協会の表計算 2 級レベル以上の作成スキルを実習。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本情報処理検定協会の表計算部門の 3 級以上の級の取得。関数や表作成等を学修する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	第 1 章 関数の利用 STEP1～STEP3				
第 2 週/ Week 2	第 1 章 関数の利用 STEP4～STEP5				
第 3 週/ Week 3	第 1 章 関数の利用 STEP6～STEP8				
第 4 週/ Week 4	第 2 章 表作成の活用 STEP1～STEP3				
第 5 週/ Week 5	第 2 章 表作成の活用 STEP4～STEP6				
第 6 週/ Week 6	第 3 章 グラフの活用 STEP1～STEP3				
第 7 週/ Week 7	第 3 章 グラフの活用 STEP4～ STEP6				
第 8 週/ Week 8	第 4 章 グラフィックの利用 STEP3				
第 9 週/ Week 9	日本情報処理検定対策①				
第 10 週/ Week 10	日本情報処理検定対策②				
第 11 週/ Week 11	日本情報処理検定対策③				
第 12 週/ Week 12	日本情報処理検定対策④				
第 13 週/ Week 13	日本情報処理検定実施				
第 14 週/ Week 14	総合問題①				
第 15 週/ Week 15	総合問題②				
第 16 週/ Week 16	テスト実施				
第 17 週/ Week 17	テスト返却・振り返り・後期のまとめ				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『よくわかる Microsoft Excel 2024 応用 Office2024/Office365 対応』					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		Excel 応用 II		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ）			
開講時期 Term		後期	配当年次	2 年		実務経歴 / Work Experiences			
授業形態		演習	単位区分	必修		設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験			
授業回数 Number of Classes		9 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間					
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
業務上起こりうる状況を提示し、実務をイメージして作業を進められるよう指導する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
日本情報処理検定協会の表計算 2 級レベル以上の作成スキルを実習。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
日本情報処理検定協会の表計算部門の 3 級以上の級の取得。関数や表作成等を学修する。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		Excel 第 5 章 データベースの活用 STEP1～STEP2							
第 2 週/ Week 2		Excel 第 5 章 データベースの活用 STEP3～STEP4							
第 3 週/ Week 3		Excel 第 6 章 ピボットテーブルとピボットグラフの作成 STEP1～STEP2							
第 4 週/ Week 4		Excel 第 6 章 ピボットテーブルとピボットグラフの作成 STEP3～STEP4							
第 5 週/ Week 5		Excel 第 8 章 マクロの作成 STEP1～STEP2							
第 6 週/ Week 6		Excel 第 8 章 マクロの作成 STEP3～STEP4							
第 7 週/ Week 7		日本情報処理検定対策①							
第 8 週/ Week 8		日本情報処理検定対策②							
第 9 週/ Week 9		試験実施							
第 10 週/ Week 10									
第 11 週/ Week 11									
第 12 週/ Week 12									
第 13 週/ Week 13									
第 14 週/ Week 14									
第 15 週/ Week 15									
第 16 週/ Week 16									
第 17 週/ Week 17									
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『よくわかる Microsoft Excel 2024 応用 Office2024/Office365 対応』									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		PowerPoint 応用		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ）			
開講時期 Term		後期	配当年次	2 年		実務経歴 / Work Experiences			
授業形態		演習	単位区分	必修		設計事務所での CAD 使用業務他、事務職経験			
授業回数 Number of Classes		8 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間					
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
業務上起こりうる状況を提示し、実務をイメージして作業を進められるよう指導する。									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
年度末に行う校内のプレゼンテーション大会に向けての準備を行う上で資料を実際に作成し、プレゼンにおける PowerPoint 資料作成の実践的なテクニックを身につける。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
効果的なプレゼンテーションの作成スキルを養う。効果的なプレゼンテーションができるようになる。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		プレゼンテーション大会 発表準備①							
第 2 週/ Week 2		プレゼンテーション大会 発表準備②							
第 3 週/ Week 3		プレゼンテーション大会 発表準備③							
第 4 週/ Week 4		プレゼンテーション大会 発表準備④							
第 5 週/ Week 5		プレゼンテーション大会 発表準備⑤							
第 6 週/ Week 6		プレゼンテーション大会 クラス内予選							
第 7 週/ Week 7		後期の振り返り							
第 8 週/ Week 8		後期末試験実施、試験返却・解説							
第 9 週/ Week 9									
第 10 週/ Week 10									
第 11 週/ Week 11									
第 12 週/ Week 12									
第 13 週/ Week 13									
第 14 週/ Week 14									
第 15 週/ Week 15									
第 16 週/ Week 16									
第 17 週/ Week 17									
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
『よくわかる MicrosoftWord2024&MicrodoftExcel2024&MicrosoftPowerPoint2024 Office2024/Microsoft365 対応』									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ビジネスコミュニケーション I		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
実務において特に必要な知識については、提示と実践練習を必ず行う				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
言葉や文化の壁を越えて、海外人材が日本の職場で活躍するためのビジネスマナー、コミュニケーションの技術を学ぶ。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
グローバル人材ビジネス実務検定 2 級合格を目標とする。				
一年生で学んだ日本企業、日系企業で働く上で知っておくべきマナーやルールの総合的復習。基礎を踏まえた応用力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	接遇の基本項目① 1 年次の復習と実践練習			
第 3 週/ Week 3	接遇の基本項目② 現場事例の検討			
第 4 週/ Week 4	コミュニケーション① 接遇の言葉遣い			
第 5 週/ Week 5	コミュニケーション② 接客英語 基本マナー、基本用語			
第 6 週/ Week 6	コミュニケーション③ 接客英語 質問、お詫び、お断り			
第 7 週/ Week 7	接遇の基本③ 姿勢、動作「歩き方、指し示し」、物の受け渡し			
第 8 週/ Week 8	敬語① 敬語の用法、種類（尊敬語、謙譲語、丁寧語）			
第 9 週/ Week 9	敬語② クッション言葉、助詞、会話の方法			
第 10 週/ Week 10	社会人としての心構え 企業人に必要な要素、環境整備、ストレス対処			
第 11 週/ Week 11	ビジネスマナー① お迎えからお茶出し、席次			
第 12 週/ Week 12	ビジネスマナー② 電話応対、メール作成、名刺交換			
第 13 週/ Week 13	クレーム対応 お客様心理、グッドマンの法則、基本の流れ			
第 14 週/ Week 14	前期のまとめ			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
グローバル人材検定公式テキスト 一般社団法人グローバル人材キャリア支援協会				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ビジネスコミュニケーションⅡ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	木曜日 2単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience

実務において特に必要な知識については、提示と実践練習を必ず行う

授業概要（学修内容・方法） / Course Description

言葉や文化の壁を越えて、海外人材が日本の職場で活躍するためのビジネスマナー、コミュニケーションの技術を学ぶ。

授業目的・到達目標 / Course Objective

グローバル人材ビジネス実務検定 2 級合格を目標とする。一年生で学んだ日本企業、日系企業で働く上で知っておくべきマナーやルールの総合的復習。基礎を踏まえた応用力を養う。

週	授業計画 / Course Schedule
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション
第 2 週/ Week 2	異文化適応力① 日本人のコミュニケーションの特徴
第 3 週/ Week 3	異文化適応力② 日本人が大切にしていることや考え
第 4 週/ Week 4	異文化適応力③ 和の精神、日本の贈り物のマナー
第 5 週/ Week 5	異文化適応力④ 冠婚葬祭
第 6 週/ Week 6	異文化適応力⑤ 各国の挨拶
第 7 週/ Week 7	異文化適応力⑥ 各国の文化、風習、タブー
第 8 週/ Week 8	食事のマナー① 基本の食事マナー
第 9 週/ Week 9	食事のマナー② 和食のマナー
第 10 週/ Week 10	食事のマナー③ 洋食のマナー
第 11 週/ Week 11	食事のマナー④ パーティのマナー、お酒のマナー
第 12 週/ Week 12	検定模擬問題 実践
第 13 週/ Week 13	検定模擬問題の返却と解説
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り

使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

グローバル人材検定公式テキスト 一般社団法人グローバル人材キャリア支援協会

成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

備考 / Memo

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	異文化コミュニケーション演習 Ⅲ・Ⅳ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience 合同会社ジョイント
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	2単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience

この講義は、通常の講義と異なり、学校の中だけで完結するものではなく、個々の学生が、協力企業の業務体験（アルバイトを含む）を行う。それぞれの人生の目標に照らし合わせながら、教室に持ち寄り、グループで自分または仲間の職業適性を相互評価し、専門家の意見も参考にし、幸せな人生設計を行うこと目的とする。

授業概要（学修内容・方法） / Course Description

この授業では、講義の目的が「私」のキャリアデザインであることが、特に強調される。というもの「私」は、これからの人生において、就職の決定、パートナーの決定など、様々な決定の主体である。そのような意味で、「私」は人生の経営者の役割を担っている。また、今日の学生の就職活動は、自分自身の適性よりも、企業の要求に合わせることに重きがおかれ、その結果、2、3年以内の離職率がとても大きな社会問題となっている、さらに、働き方改革もあり、企業は自己都合ばかりを優先できない状況にあり、求職者、雇用者ともに納得する就職の場の提供が望まれている。

このような課題を実現するためには、就職する前に、仕事を通じて、さまざまな仕事の実態を体験し、そのような仕事に対して、学生主体で活動する。学生は興味のある企業の職場で経営者、社員の方々へのヒアリングを行う。そのような実践を通して、「私」がどのような仕事に適性があるのかを授業の場に持ち寄り、周りの人の意見や専門家の意見を聞きながら自分のやりたいことの確認作業を行う。

このような傾向は、今日ますます重要になっている。これまでの時代は、急激な人口増加を元に「大量生産・大量消費」の時代で、世の中の流れにうまく乗れば、成功であるかのような錯覚が蔓延し、「私」の決定はそれほど重要視されてこなかった。しかし、これからの人口減少時代は、国内マーケットだけでは生き残れない、大企業に就職すれば、一生安心といった時代ではなくなった。海外マーケットも見ながら、マスマーケットではなく、一人一人の消費者に寄り添った、事業展開が望まれ、そのような時代対応できる人が望まれている。

具体的な、授業内容は、初回の講義で私から、講義の設計思想と、学生主体の運営のグループ作成を行う。また学生同士の自己紹介の時間をとり、異文化コミュニケーションの重要性を理解してもらう。

二回目の授業は、今回最も重要な授業になっている。植松電機の植松努社長による講義で、多くの学生が自分自身の可能性に蓋を解放する。誰もが「どうせ無理」と思っている宇宙ロケットのモデルを実際に作って、飛ばすことにより、学生すべての人の可能性がなんの制約もないことを実感してもらう。

三回目で、今後の基本的な動き方のデモンストレーションを行う。課外活動は、守破離という基本理念をもとに行動する。まずは「守」として、インターン先企業やアルバイト先などの企業の経営者、社員、顧客、仕入れ先などの方々の話を徹底的に聞き、正確にビジネスプランを把握し、理解することに努める。この段階では学生は自分の考えを排除し、インターンシップ先の話は肯定的に受け入れ、信頼関係を築くことに注力する。しかし、どんなに肯定的に受け入れても、心の中では受け入れられない考えがある。これは「破」であり、そこから問題点を抽出し、インターン先への改善案の提出、また自分自身がどのようなキャリアを描きたいのかという「離」の活動を行う。四回目ではこの説明を行う。また同時に、日本人学生と留学生の合同グループを作り、自己紹介・他己紹介を行い、発表の仕方や自分自身の蓋を開放することを行う。

四回目と五回目では、テーマ先となる企業からの説明をいただく。その後、「私はどの企業を研究したいか」を選択してもらう。

六回目以降からは、守破離の実践を行ったものを発表していく時間となる。具体的には、株式会社ジェイ・エス・ビーや株式会社ふくやをはじめ、地元企業や関西の企業のご協力をいただき、企業研究などを通じて、日頃から企業がどのような課題に向き合い、解決しているのかなどを学び、授業の場で発表を行う。

このように、業務の中で直面した課題や自分の適正に関する悩みなどを木曜日の講義の時間に共有し、学生同士で解決していく関係を構築する。また定期的に地元企業の経営者の方を授業にお迎えして、これまでの人生論などをお話いただき、「私」のキャリアデザインに向けたお話を取り入れる。

授業目的・到達目標 / Course Objective 自立し、幸せな人生を送るための仕事と生き方の基本を学ぶ。 心にある「どうせ無理」をなくし、自信を育み、自主的にかつ協調性を持ちながら行動する能力を身につけている。(態度・志向性) 社会や企業、身の回りの状況を把握し、その問題の原因を究明し、解決策を立案する能力を身につけている。(技能) 専門的な知識の習得のために、専門家を探し、面会の許可を取るなどして、実地調査を行うことができる。(技能) 実地調査を通して、研究成果を論理的な文章にまとめ、それを他者にも分かりやすく説明できる能力及び討論できる能力を身につけている。(技能)	
週	授業計画 / Course Schedule
第1週/ Week 1	オリエンテーション（講義の目的、到達目標の説明）
第2週/ Week 2	植松電機様（植松社長講演、ロケット教室）
第3週/ Week 3	守破離の説明、自己紹介・他己紹介ワーク
第4週/ Week 4	テーマ先企業説明会①
第5週/ Week 5	テーマ先企業説明会②
第6週/ Week 6	守の調査手順（テーマ先企業の講義の振り返り）
第7週/ Week 7	テーマ先と信頼関係を築く理由①
第8週/ Week 8	テーマ先と信頼関係を築く理由②
第9週/ Week 9	中間発表①
第10週/ Week 10	市場調査の方法①
第11週/ Week 11	市場調査の方法②
第12週/ Week 12	問題解決の手順
第13週/ Week 13	守から破に変わる時とは①
第14週/ Week 14	守から破に変わる時とは②
第15週/ Week 15	期末発表①
第16週/ Week 16	期末発表②
第17週/ Week 17	前期のまとめ
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material	
成績評価 / Evaluation 定期試験は行いません。基本的には、評価は、学生の自己評価、相互評価をもとに、学生の希望者からなる評価委員会が成績評価の素案を作ります。 出席点 30%、平常点 30%、期末発表 40%を基準として成績評価を行います。なお、欠席は低評価の要因となります。	
備考 / Memo	

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	異文化コミュニケーション演習 Ⅲ・Ⅳ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験 (☒ 有 ・ ☐ 無)
開講時期 Term	前期 ☒ 後期	配当年次	☒ 1 年 ・ ☐ 2 年	実務経歴 / Work Experience 合同会社ジョイント
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	☒ 必修 ・ ☐ 選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience

この講義は、通常の講義と異なり、学校の中だけで完結するものではなく、個々の学生が、協力企業の業務体験（アルバイトを含む）を行う。それぞれの人生の目標に照らし合わせながら、教室に持ち寄り、グループで自分または仲間の職業適性を相互評価し、専門家の意見も参考にし、幸せな人生設計を行うこと目的とする。

授業概要（学修内容・方法） / Course Description

この授業では、講義の目的が「私」のキャリアデザインであることが、特に強調される。というもの「私」は、これからの人生において、就職の決定、パートナーの決定など、様々な決定の主体である。そのような意味で、「私」は人生の経営者の役割を担っている。また、今日の学生の就職活動は、自分自身の適性よりも、企業の要求に合わせることに重きがおかれ、その結果、2、3年以内の離職率がとても大きな社会問題となっている、さらに、働き方改革もあり、企業は自己都合ばかりを優先できない状況にあり、求職者、雇用者ともに納得する就職の場の提供が望まれている。

このような課題を実現するためには、就職する前に、仕事を通じて、さまざまな仕事の実態を体験し、そのような仕事に対して、学生主体で活動する。学生は興味のある企業の職場で実際の業務体験や経営者、社員の方々へのヒアリングを行う。そのような実践を通して、「私」がどのような仕事に適性があるのかを授業の場に持ち寄り、周りの人の意見や専門家の意見を聞きながら自分のやりたいことの確認作業を行う。

このような傾向は、今日ますます重要になっている。これまでの時代は、急激な人口増加を元に「大量生産・大量消費」の時代で、世の中の流れにうまく乗れば、成功であるかのような錯覚が蔓延し、「私」の決定はそれほど重要視されてこなかった。しかし、これからの人口減少時代は、国内マーケットだけでは生き残れない、大企業に就職すれば、一生安心といった時代ではなくなった。海外マーケットも見ながら、マスマーケットではなく、一人一人の消費者に寄り添った、事業展開が望まれ、そのような時代対応できる人が望まれている。

具体的な、授業内容は、課外活動で学んできたことを授業で共有し、発表していく授業が中心となる。課外活動については、守破離という基本理念をもとに行動していく。まずは「守」として、インターン先企業やアルバイト先などの企業の経営者、社員、顧客、仕入れ先などの方々の話を徹底的に聞き、正確にビジネスプランを把握し、理解することに努める。この段階では学生は自分の考えを排除し、インターンシップ先の話は肯定的に受け入れ、信頼関係を築くことに注力する。しかし、どんなに肯定的に受け入れても、心の中では受け入れられない考えがある。これは「破」であり、そこから問題点を抽出し、インターン先への改善案の提出、また自分自身がどのようなキャリアを描きたいのかという「離」の活動を行う。具体的な企業としては、株式会社フジシタや株式会社かわなべをはじめ、地元企業の協力をいただき、業務体験などを通じて、日頃から企業がどのような課題に向き合い、解決しているのかなどを学び、授業の場で発表を行なう。

2026 年 1 月からの講義は、再び株式会社植松電機の植松努社長と Zoom を繋ぎ、3 回ワークショップを実施する。具体的には、植松社長のこれまでの経営経験や人生観を通じた「仕事とは」「国家とは」「社会とは」などのテーマごとに講演をいただき、そのテーマごとに話し合いを行うワークショップを通じて、これからどんな人生を歩んでいけばいいのか考えていく時間とする。最後には期末発表にて、1 年間の講義を通じて、「これから私はどんな人生を歩んでいきたいのか」というテーマで発表し、「私」のキャリアデザインを完成させる。

授業目的・到達目標 / Course Objective

自立し、幸せな人生を送るための仕事と生き方の基本を学ぶ。

心にある「どうせ無理」をなくし、自信を育み、自主的にかつ協調性を持ちながら行動する能力を身につけている。(態度・志向性)

社会や企業、身の回りの状況を把握し、その問題の原因を究明し、解決策を立案する能力を身につけている。(技能)

専門的な知識の習得のために、専門家を探し、面会の許可を取るなどして、実地調査を行うことができる。(技能) 実地調査を通して、研究成果を論理的な文章にまとめ、それを他者にも分かりやすく説明できる能力及び討論できる能力を身につけている。(技能)

週	授業計画 / Course Schedule
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション（講義の目的、到達目標の説明）
第 2 週/ Week 2	ビジネスモデルと企業戦略の立案方法
第 3 週/ Week 3	ビジネスモデル構築について①
第 4 週/ Week 4	中間発表①「課題解決に向けて」
第 5 週/ Week 5	ビジネスモデル構築について②
第 6 週/ Week 6	問題解決とアイデア創出
第 7 週/ Week 7	ビジネスモデルキャンバス
第 8 週/ Week 8	中間発表②「課題解決のプラン」
第 9 週/ Week 9	解決プランブラッシュアップ①
第 10 週/ Week 10	解決プランブラッシュアップ②
第 11 週/ Week 11	解決プランブラッシュアップ②
第 12 週/ Week 12	植松社長講演
第 13 週/ Week 13	植松社長講演
第 14 週/ Week 14	期末発表①
第 15 週/ Week 15	期末発表②
第 16 週/ Week 16	植松社長講演
第 17 週/ Week 17	1 年間のまとめ
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material	
成績評価 / Evaluation 定期試験は行いません。基本的には、評価は、学生の自己評価、相互評価をもとに、学生の希望者からなる評価委員会が成績評価の素案を作ります。 出席点 30%、平常点 30%、期末発表 40%を基準として成績評価を行います。なお、欠席は低評価の要因となります。	
備考 / Memo	

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	経営戦略 I		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 起業経営経験
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務によって得た、経営のセオリーに基づく事業経営のポイントを踏まえ講義する				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 多くの起業家が基礎とする経営の基本知識を知る。それとともに、フレームワークを用いたアウトプットを行うことで企業人としての「経営者の思考」や将来の起業希望者にとっての「起業家精神」を育成する。演習も含む。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 事業経営のポイントを通して、ビジネス界で通用する基礎知識と実践力を身につける。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	経営の考え方の基本 経営の全体像①			
第 3 週/ Week 3	経営の考え方の基本 経営の全体像②			
第 4 週/ Week 4	目標設定の仕方① 願望→ビジョン			
第 5 週/ Week 5	目標設定の仕方② ビジョン→目標			
第 6 週/ Week 6	計画の立て方 基本的な発想の仕方 ①可能性について			
第 7 週/ Week 7	計画の立て方 基本的な発想の仕方 ②逆転思考			
第 8 週/ Week 8	事業計画書① 紹介と解説 ビジネスの策定			
第 9 週/ Week 9	事業計画書② 記入の実践と計画の発表			
第 10 週/ Week 10	強者の戦略、弱者の戦略 概要			
第 11 週/ Week 11	「強者の戦略」 ポイントの理解			
第 12 週/ Week 12	「強者のビジネス戦略」 発想ワーク			
第 13 週/ Week 13	「弱者の戦略」 ポイントの理解			
第 14 週/ Week 14	「弱者のビジネス戦略」 発想ワーク			
第 15 週/ Week 15	前期のまとめ			
第 16 週/ Week 16	前期テスト実施			
第 17 週/ Week 17	テスト返却と解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material PPT ハンドアウトほか、補足資料および記入用フォーマットを配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス			2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	経営戦略Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 起業経営経験
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務によって得た、経営のセオリーに基づく事業経営のポイントを踏まえ講義する				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 多くの起業家が基礎とする経営の基本知識を知る。それとともに、フレームワークを用いたアウトプットを行うことで企業人としての「経営者的思考」や将来の起業希望者にとっての「起業家精神」を育成する。演習も含む。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 事業経営のポイントを通して、ビジネス界で通用する基礎知識と実践力を身につける。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	営業戦略の概要① 全体像			
第 2 週/ Week 2	営業戦略の概要② 見込み客発見のポイント			
第 3 週/ Week 3	営業戦略の概要③ アポイントメントの考え方			
第 4 週/ Week 4	営業戦略の概要④ 見込み客へのアプローチ			
第 5 週/ Week 5	営業戦略の概要⑤ プレゼンテーション			
第 6 週/ Week 6	営業戦略の概要⑥ クロージング			
第 7 週/ Week 7	店舗運営① 事例検討から具体的計画策定を練る			
第 8 週/ Week 8	店舗運営② 見込み客の発見			
第 9 週/ Week 9	店舗運営③ アポイントメント			
第 10 週/ Week 10	店舗運営④ アプローチ			
第 11 週/ Week 11	店舗運営⑤ プレゼンテーション			
第 12 週/ Week 12	店舗運営⑥ クロージング			
第 13 週/ Week 13	リピートにつなげる仕掛けづくり①			
第 14 週/ Week 14	リピートにつなげる仕掛けづくり② 具体案の検討			
第 15 週/ Week 15	前期のまとめ			
第 16 週/ Week 16	前期テスト実施			
第 17 週/ Week 17	テスト返却と解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material PPT ハンドアウトほか、補足資料および記入用フォーマットを配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	プランニング I		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有・無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務歴
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務経験での失敗例・成功例を提示し、実務をイメージさせる				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 成果発表会に向かって、企画・計画・スケジュール管理を演習する。プロセスの実践から得た改善策を踏まえて、改めて課題達成に至るための必要事項・スキルを検討し養成する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 成果発表会における企画発表へ向けた実践力をつける。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	成果発表会の意義づけと概要 スケジュール発表			
第 2 週/ Week 2	グループ分け、テーマ検討			
第 3 週/ Week 3	テーマ検討及び決定 準備計画の策定			
第 4 週/ Week 4	発表内容計画① 役割分担、スケジュール詳細の決定			
第 5 週/ Week 5	発表内容計画② テーマに基づく発表の目的・聴衆の特性・調査方法			
第 6 週/ Week 6	発表内容計画③ 調査進捗、アンケート作成等			
第 7 週/ Week 7	発表内容計画④ PowerPoint 概略作成			
第 8 週/ Week 8	発表内容計画⑤ 進捗確認・PowerPoint 概略作成・ スクリプト作成			
第 9 週/ Week 9	発表内容計画⑥ 進捗確認・PowerPoint 概略作成・ スクリプト作成			
第 10 週/ Week 10	発表内容計画⑦ 進捗確認・PowerPoint 概略作成・ スクリプト作成			
第 11 週/ Week 11	第一回 リハーサル			
第 12 週/ Week 12	リハーサルへのフィードバック、フィードバックを反映して発表内容の手直し①			
第 13 週/ Week 13	フィードバックを反映して発表内容の手直し②			
第 14 週/ Week 14	第二回 リハーサル			
第 15 週/ Week 15	リハーサルへのフィードバック、フィードバックを反映して発表内容の手直し①			
第 16 週/ Week 16	発表会通し練習			
第 17 週/ Week 17	成果発表会 振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション アプリコット出版 適宜、必要資料配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	プランニングⅡ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験 (有) ・ 無)
開講時期 Term	前期・(後期)	配当年次	1 年・(2 年)	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務歴
授業形態	講義・(演習)・実習	単位区分	(必修)・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務経験での失敗例・成功例を提示し、実務をイメージさせる				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 成果発表会に向かって、企画・計画・スケジュール管理を演習する。プロセスの実践から得た改善策を踏まえて、改めて課題達成に至るための必要事項・スキルを検討し養成する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 成果発表会における企画発表へ向けた実践力をつける。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	後期授業オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	ビジネス用語 語彙確認			
第 3 週/ Week 3	① 企画を立てる 会議内容の理解、グラフを利用した現状説明、会議内容の報告			
第 4 週/ Week 4	② 企画を立てる スクリプト、表現・語彙練習			
第 5 週/ Week 5	③ 企画を立てる 会議内容の理解、グラフを利用した現状説明、会議内容の報告			
第 6 週/ Week 6	④ 企画を立てる スクリプト、表現・語彙練習			
第 7 週/ Week 7	⑤ 企画を立てる 前期の振り返りと今後の改善案の検討			
第 8 週/ Week 8	① 企画を具体化する SWOT 分析の要点整理			
第 9 週/ Week 9	② 企画を具体化する SWOT 分析結果の理解			
第 10 週/ Week 10	③ 企画を具体化する マーケティング戦略についての議論			
第 11 週/ Week 11	④ 企画を立てる 前期の振り返りと今後の改善案の検討			
第 12 週/ Week 12	① 新聞記事からの情報収集 買収			
第 13 週/ Week 13	② 新聞記事からの情報収集 業績			
第 14 週/ Week 14	日本語、日本語によるコミュニケーションを通して発見したことと自国との違い			
第 15 週/ Week 15	後期のまとめ			
第 16 週/ Week 16	後期テスト実施			
第 17 週/ Week 17	テスト返却と解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション アプリコット出版 適宜、必要資料配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス			2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	リスクマネジメント I		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験 (有)
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experience 起業経営経験
授業形態	演習	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
実際の企業事例を使った指導とともに、業務上での対応経験を提示し検討させる				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
個人レベルのリスク管理から企業運営上のリスクまでの基礎知識を学ぶ。企業リスクについては、ケース紹介なども取り入れる。前期＝個人、後期＝企業。演習も含めてリスクマネジメントを理解する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
社会生活上また業務上の情報リテラシー、IT リテラシーの知識とともに、日本国内での現状を学ぶ また、ブリッジ人材として海外人材のマネジメント業務を担当できる知識とスキルを身につける。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	情報化社会のモラルとセキュリティ① 情報モラルとは何か			
第 3 週/ Week 3	情報化社会のモラルとセキュリティ② セキュリティ対策の必要性			
第 4 週/ Week 4	個人情報の適切な取り扱い① 個人情報を守る			
第 5 週/ Week 5	個人情報の適切な取り扱い② 他人の個人情報の尊重			
第 6 週/ Week 6	個人情報の適切な取り扱い③ マイナンバーの取り扱い			
第 7 週/ Week 7	著作権① 論文・レポート作成・引用			
第 8 週/ Week 8	著作権② CD、DVD の貸し借り・映像、書籍のデータ化			
第 9 週/ Week 9	著作権③ 著作権まとめ			
第 10 週/ Week 10	インターネットリテラシー ～ ウィルス対策 ～			
第 11 週/ Week 11	パスワードの取り扱い			
第 12 週/ Week 12	迷惑メール、フィッシングメール対策			
第 13 週/ Week 13	メール送受信の注意点			
第 14 週/ Week 14	Web 上のコミュニケーション			
第 15 週/ Week 15	前期まとめ			
第 16 週/ Week 16	テスト実施			
第 17 週/ Week 17	テスト返却・解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
PPT ハンドアウト、必要プリントを適宜配布				
成績評価 / Evaluation				
定期試験 40％・出席状況 30％・平常点 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		リスクマネジメントⅡ		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ）			
開講時期 Term		後期	配当年次	2 年		実務経歴 / Work Experience 起業経営経験			
授業形態		演習	単位区分	必修					
授業回数 Number of Classes		17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間					
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience									
実際の企業事例を使った指導とともに、業務上での対応経験を提示し検討させる									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
個人レベルのリスク管理から企業運営上のリスクまでの基礎知識を学ぶ。企業リスクについては、ケース紹介なども取り入れる。前期＝個人、後期＝企業 演習も含めてリスクマネジメントを理解する。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
社会生活上また業務上の情報リテラシー、IT リテラシーの知識とともに、日本国内での現状を学ぶ また、ブリッジ人材として海外人材のマネジメント業務を担当できる知識とスキルを身につける。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		後期授業内容の説明 ～ 事例紹介 ～							
第 2 週/ Week 2		企業リスクとリスクマネジメントの意味							
第 3 週/ Week 3		チームにおけるリスク発生の傾向・リスクマネジメントの基本的な考え方							
第 4 週/ Week 4		企業リスクとリスクマネジメントの意味							
第 5 週/ Week 5		チームにおけるリスク発生の傾向・リスクマネジメントの基本的な考え方							
第 6 週/ Week 6		リスクマネジメントのプロセスと管理の方法							
第 7 週/ Week 7		リスクマネジメントに関連する様々な概念①							
第 8 週/ Week 8		リスクマネジメントに関連する様々な概念②							
第 9 週/ Week 9		マネージャーが実践すべきリスクマネジメント							
第 10 週/ Week 10		労働に関する基礎知識							
第 11 週/ Week 11		労働条件 賃金・労働時間・休日・休憩時間・休業							
第 12 週/ Week 12		労働災害の防止と対策							
第 13 週/ Week 13		メンタルヘルスの基礎知識と対応、ハラスメントの防止や予防について							
第 14 週/ Week 14		ヒューマンエラーとその対策							
第 15 週/ Week 15		後期まとめ							
第 16 週/ Week 16		テスト実施							
第 17 週/ Week 17		テスト返却・解説							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
PPT ハンドアウト、必要プリントを適宜配布									
成績評価 / Evaluation									
定期試験 40％・出席状況 30％・平常点 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		貿易実務 I		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有・無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 総合物流企業において、通関士として通関実務に 12.8 年、通関業務の管理監督および支店長として支店統括運営に 14.6 年従事。	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 通関業務を通じて取得した貿易知識を自身の体験を踏まえ、実例を挙げ具体的に講義する。 終業後、即戦力になりうる知識を教えると共に社会人として必要な知識及びマナーも同時に伝授する。					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 「貿易」の全体像から始まり、輸入・輸出に係る具体的な業務知識を育成。また、港湾業務についてもその機能やグローバルビジネスにおける重要性を学ぶ。貿易上の問題発生～解決までを演習で理解する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective 仕組み・基礎知識を学び貿易について興味を深めるとともに、貿易関連ビジネスに携わるための基本用語・手続き方法・書類作成まで実例を踏まえて実践力を身に着ける					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション				
第 2 週/ Week 2	貿易実務の全体像①				
第 3 週/ Week 3	貿易実務の全体像②				
第 4 週/ Week 4	市場調査から契約業務①				
第 5 週/ Week 5	市場調査から契約業務②				
第 6 週/ Week 6	市場調査から契約業務③				
第 7 週/ Week 7	貿易実務の全体像～市場調査から契約業務 まとめ				
第 8 週/ Week 8	関係法律と取引条件①				
第 9 週/ Week 9	関係法律と取引条件②				
第 10 週/ Week 10	関係法律と取引条件③				
第 11 週/ Week 11	関税手続き①				
第 12 週/ Week 12	関税手続き②				
第 13 週/ Week 13	関税手続き③				
第 14 週/ Week 14	関係法律と取引条件 ～ 関税手続き まとめ				
第 15 週/ Week 15	前期まとめ				
第 16 週/ Week 16	定期試験				
第 17 週/ Week 17	試験返却 振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、必要プリントを配布					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	貿易実務Ⅱ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有・無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 総合物流企業において、通関士として 通関実務に 12.8 年、通関業務の管理監 督および支店長として支店統括運営に 14.6 年従事。
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 通関業務を通じて取得した貿易知識を自身の体験を踏まえ、実例を挙げ具体的に講義する。 終業後、即戦力になりうる知識を教えると共に社会人として必要な知識及びマナーも同時に伝授する。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 「貿易」の全体像から始まり、輸入・輸出に係る具体的な業務知識を育成。また、港湾業務についてもその機能やグローバルビジネスにおける重要性を学ぶ。貿易上の問題発生～解決までを演習で理解する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 仕組み・基礎知識を学び貿易について興味を深めるとともに、貿易関連ビジネスに携わるための基本用語・手続き方法・書類作成まで実例を踏まえて実践力を身に着ける				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	海上輸送 メリット・デメリット			
第 3 週/ Week 3	航空輸送 メリット・デメリット			
第 4 週/ Week 4	鉄道・陸上輸送 メリット・デメリット			
第 5 週/ Week 5	積荷と荷役、輸送機械			
第 6 週/ Week 6	取引決済について①			
第 7 週/ Week 7	取引決済について①			
第 8 週/ Week 8	輸送方法別 メリット・デメリット ～ 取引決済 まとめ			
第 9 週/ Week 9	港湾施設見学			
第 10 週/ Week 10	貿易保険①			
第 11 週/ Week 11	貿易保険②			
第 12 週/ Week 12	「貿易」の関係書類知識①			
第 13 週/ Week 13	「貿易」の関係書類知識②			
第 14 週/ Week 14	国際戦略、貿易ビジネスの展望			
第 15 週/ Week 15	後期まとめ			
第 16 週/ Week 16	定期試験			
第 17 週/ Week 17	試験返却 振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、必要プリントを配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		英会話特講 I		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ ）			
開講時期 Term		前期	配当年次	2 年		実務経歴 / Work Experience			
授業形態		講義	単位区分	必修					
授業回数 Number of Classes		17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間					
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience									
実務で想定される場面を提示し事例検討									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
使える日常表現を身につける。映像資料での学びをロールプレイングで実践させ実務への対応力を向上させる。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
海外人材として、日本企業内で求められる英語力のレベルアップ。特に会話力の養成。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		オリエンテーション							
第 2 週/ Week 2		シーン① 取引先との会食							
第 3 週/ Week 3		シーン② 会食の誘いを断る							
第 4 週/ Week 4		シーン③ 再度説明を求める							
第 5 週/ Week 5		シーン④ 会議運営							
第 6 週/ Week 6		シーン⑤ 訪問先で情報を引き出す							
第 7 週/ Week 7		シーン⑥ 急用による退社							
第 8 週/ Week 8		シーン⑦ 請求書送付の催促							
第 9 週/ Week 9		シーン⑧ 請求書の訂正を依頼							
第 10 週/ Week 10		シーン⑨ 担当外の問い合わせへの対応							
第 11 週/ Week 11		シーン⑩ 取引先からの返品依頼、理由を聞きだす							
第 12 週/ Week 12		シーン⑪ 研修生の指導							
第 13 週/ Week 13		シーン⑫ モチベーションアップのアドバイス							
第 14 週/ Week 14		シーン⑬ 進捗状況のチェック							
第 15 週/ Week 15		前期のまとめ							
第 16 週/ Week 16		前期テスト実施							
第 17 週/ Week 17		テスト返却と解説							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
仕事の基礎英語 宝島者									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		英会話特講Ⅱ		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ ）			
開講時期 Term		後期		配当年次		2 年		実務経歴 / Work Experience	
授業形態		講義		単位区分		必修			
授業回数 Number of Classes		17 回 / 34 回		授業時間 Class Hours		1 単位時間			
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience									
実務で想定される場面を提示し事例検討									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
使える日常表現を身につける。映像資料での学びをロールプレイングで実践させ実務への対応力を向上させる。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
海外人材として、日本企業内で求められる英語力のレベルアップ。特に会話力の養成。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		シーン⑭ 新規クライアントとの初商談 歓迎の気持ちを伝える							
第 2 週/ Week 2		グループワークでロールプレイング練習→発表							
第 3 週/ Week 3		シーン⑮ 商談 説明途中の質問への対応							
第 4 週/ Week 4		グループワークでロールプレイング練習→発表							
第 5 週/ Week 5		シーン⑯ 商談 発注品の値段交渉							
第 6 週/ Week 6		グループワークでロールプレイング練習→発表							
第 7 週/ Week 7		シーン⑰ 商談 相手の要望に対し、折衷案を提示する							
第 8 週/ Week 8		グループワークでロールプレイング練習→発表							
第 9 週/ Week 9		シーン⑱ 商談 要望への最終確認							
第 10 週/ Week 10		グループワークでロールプレイング練習→発表							
第 11 週/ Week 11		シーン⑲ 商談 商談内容を書面にし、確認を促す							
第 12 週/ Week 12		グループワークでロールプレイング練習→発表							
第 13 週/ Week 13		シーン⑳ 商談 納期についての合意形成							
第 14 週/ Week 14		グループワークでロールプレイング練習→発表							
第 15 週/ Week 15		後期のまとめ							
第 16 週/ Week 16		後期テスト実施							
第 17 週/ Week 17		テスト返却と解説							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
仕事の基礎英語 宝島者									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス			2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	問題解決演習 I		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験（ 有 ）
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences 営業および営業事務担当歴
授業形態	演習	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 自分自身で考察したり調べた内容をグループでディスカッションすることで、考察力やコミュニケーション能力の向上を目指す。ビジネスのコンテンツを取り扱い、グローバルな日本企業についての知見を深める。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自ら深く考察し、意見を述べられるようになる。ディスカッションを通して、協同作業を行うことができるようになる。実際のビジネスケースを扱い、グローバルな日本企業のビジネスに関して知る。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション Unit1 日本コカ・コーラ①			
第 2 週/ Week 2	Unit1 日本コカ・コーラ②			
第 3 週/ Week 3	Unit1 日本コカ・コーラ③			
第 4 週/ Week 4	Unit1 日本コカ・コーラ④			
第 5 週/ Week 5	Unit1 日本コカ・コーラ⑤			
第 6 週/ Week 6	Unit1 日本コカ・コーラ⑥			
第 7 週/ Week 7	Unit1 日本コカ・コーラ⑦			
第 8 週/ Week 8	Unit2 任天堂①			
第 9 週/ Week 9	Unit2 任天堂②			
第 10 週/ Week 10	Unit2 任天堂③			
第 11 週/ Week 11	Unit2 任天堂④			
第 12 週/ Week 12	Unit2 任天堂⑤			
第 13 週/ Week 13	Unit2 任天堂⑥			
第 14 週/ Week 14	Unit2 任天堂⑦			
第 15 週/ Week 15	前期学習内容振り返り			
第 16 週/ Week 16	前期末試験実施			
第 17 週/ Week 17	前期末試験返却・解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『中級から伸ばす ビジネスケースで学ぶ日本語』				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス			2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	問題解決演習Ⅱ		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験（ 有 ）
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences 営業および営業事務担当歴
授業形態	演習	単位区分	選択	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 自分自身で考察したり調べた内容をグループでディスカッションすることで、考察力やコミュニケーション能力の向上を目指す。ビジネスのコンテンツを取り扱い、グローバルな日本企業についての知見を深める。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自ら深く考察し、意見を述べられるようになる。ディスカッションを通して、協同作業を行うことができるようになる。実際のビジネスケースを扱い、グローバルな企業のビジネスに関して知る。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Unit3 コーチ①			
第 2 週/ Week 2	Unit3 コーチ②			
第 3 週/ Week 3	Unit3 コーチ③			
第 4 週/ Week 4	Unit3 コーチ④			
第 5 週/ Week 5	Unit3 コーチ⑤			
第 6 週/ Week 6	Unit3 コーチ⑥			
第 7 週/ Week 7	Unit3 コーチ⑦			
第 8 週/ Week 8	Unit4 ウォルマート①			
第 9 週/ Week 9	Unit4 ウォルマート②			
第 10 週/ Week 10	Unit4 ウォルマート③			
第 11 週/ Week 11	Unit4 ウォルマート④			
第 12 週/ Week 12	Unit4 ウォルマート⑤			
第 13 週/ Week 13	Unit4 ウォルマート⑥			
第 14 週/ Week 14	Unit4 ウォルマート⑦			
第 15 週/ Week 15	後期学習内容振り返り			
第 16 週/ Week 16	後期末試験実施			
第 17 週/ Week 17	後期末試験返却・解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 『中級から伸ばす ビジネスケースで学ぶ日本語』				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	キャリアデザインⅢ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年 2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 企業側の採用意図の理解を促し、学生自身の行動特性に合った就職活動を導く				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 1 年次の自己分析・企業分析スキルを基本に、実践を伴った授業展開を行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本企業の仕組みや採用活動の概要を理解し、日本での就労に向けた就職活動を行う力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	履歴書作成①			
第 3 週/ Week 3	履歴書作成②			
第 4 週/ Week 4	面接対策① 第一印象の実践確認			
第 5 週/ Week 5	面接対策② 階層による選考方法の違い			
第 6 週/ Week 6	面接対策①			
第 7 週/ Week 7	面接対策②			
第 8 週/ Week 8	海外人材のキャリアパス①			
第 9 週/ Week 9	自己分析① 「なぜ日本で働きたいのか」			
第 10 週/ Week 10	自己分析② 過去・現在・未来の自分について			
第 11 週/ Week 11	自己分析③ 長所・短所			
第 12 週/ Week 12	自己分析④ 興味関心のある仕事			
第 13 週/ Week 13	業界・業種・職種と就労ビザについて			
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス				2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	キャリアデザインⅣ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年 2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
企業側の採用意図の理解を促し、学生自身の行動特性に合った就職活動を導く					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description					
1 年次の自己分析、企業分析スキルを基本に実践を伴った授業展開を行う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本企業の仕組みや採用活動の概要を理解し、日本での就労に向けた就職活動を行う力を養う。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション				
第 2 週/ Week 2	業界研究①				
第 3 週/ Week 3	業界研究②				
第 4 週/ Week 4	業界研究③				
第 5 週/ Week 5	面接① 集団面接				
第 6 週/ Week 6	面接① 集団面接ロールプレイング				
第 7 週/ Week 7	面接② 個人面接				
第 8 週/ Week 8	面接② 個人面接ロールプレイング				
第 9 週/ Week 9	模擬面接① 準備				
第 10 週/ Week 10	模擬面接② 実践				
第 11 週/ Week 11	模擬面接③ フィードバック				
第 12 週/ Week 12	目標設定				
第 13 週/ Week 13	自己管理				
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ				
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	2 年次全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		国際関係概論 I		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 無 ）			
開講時期 Term		前期	配当年次	2 年		実務経歴 / Work Experiences 営業および営業事務担当歴			
授業形態		講義	単位区分	必修					
授業回数 Number of Classes		17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間					
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 講義の後、各国の状況について自ら調べ、共有することで知識を深める。									
授業目的・到達目標 / Course Objective 世界的な諸問題を身近な問題として理解し、それに対する意見を述べるができるようになる。時事問題を扱い、その背景に迫ることで、各国や各地域の歴史や文化、経済状況などを理解できるようになる。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		オリエンテーション							
第 2 週/ Week 2		第一テーマ 基本的な知識、背景の導入							
第 3 週/ Week 3		第一テーマ 各国の状況について調査							
第 4 週/ Week 4		第一テーマ 調査内容について共有							
第 5 週/ Week 5		第二テーマ 基本的な知識、背景の導入							
第 6 週/ Week 6		第二テーマ 各国の状況について調査							
第 7 週/ Week 7		第二テーマ 調査内容について共有							
第 8 週/ Week 8		第三テーマ 基本的な知識、背景の導入							
第 9 週/ Week 9		第三テーマ 各国の状況について調査							
第 10 週/ Week 10		第三テーマ 調査内容について共有							
第 11 週/ Week 11		第四テーマ 基本的な知識、背景の導入							
第 12 週/ Week 12		第四テーマ 各国の状況について調査							
第 13 週/ Week 13		第四テーマ 調査内容について共有							
第 14 週/ Week 14		すべてのテーマの総括							
第 15 週/ Week 15		学習内容の振り返り							
第 16 週/ Week 16		後期末試験実施							
第 17 週/ Week 17		後期末試験の返却・解説							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、ハンドアウトを配布									
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus					
授業科目 Course Title		国際関係概論Ⅱ		担当教員 Instructor		氏名/Name				
						実務経験（ 無 ）				
開講時期 Term		後期		配当年次		2 年		実務経歴 / Work Experiences 営業および営業事務担当歴		
授業形態		講義		単位区分		必修				
授業回数 Number of Classes		17 回		授業時間 Class Hours		1 単位時間				
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences										
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 講義の後、各国の状況について自ら調べ、共有することで知識を深める。										
授業目的・到達目標 / Course Objective 世界的な諸問題を身近な問題として理解し、それに対する意見を述べるができるようになる。時事問題を扱い、その背景に迫ることで、各国や各地域の歴史や文化、経済状況などを理解できるようになる。										
週		授業計画 / Course Schedule								
第 1 週/ Week 1		オリエンテーション								
第 2 週/ Week 2		第一テーマ 基本的な知識、背景の導入								
第 3 週/ Week 3		第一テーマ 各国の状況について調査								
第 4 週/ Week 4		第一テーマ 調査内容について共有								
第 5 週/ Week 5		第二テーマ 基本的な知識、背景の導入								
第 6 週/ Week 6		第二テーマ 各国の状況について調査								
第 7 週/ Week 7		第二テーマ 調査内容について共有								
第 8 週/ Week 8		第三テーマ 基本的な知識、背景の導入								
第 9 週/ Week 9		第三テーマ 各国の状況について調査								
第 10 週/ Week 10		第三テーマ 調査内容について共有								
第 11 週/ Week 11		第四テーマ 基本的な知識、背景の導入								
第 12 週/ Week 12		第四テーマ 各国の状況について調査								
第 13 週/ Week 13		第四テーマ 調査内容について共有								
第 14 週/ Week 14		すべてのテーマの総括								
第 15 週/ Week 15		学習内容の振り返り								
第 16 週/ Week 16		後期末試験実施								
第 17 週/ Week 17		後期末試験の返却・解説								
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、ハンドアウトを配布										
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。										

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合英語Ⅲ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験 ()
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態 Course type	講義	単位区分	選択	
授業週数 Number of Weeks	17 週	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences This method is an active communicative approach to learning authentic international English with interactive, classroom-friendly preparation exercises and practice tests.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This course is specifically designed for students who want to improve their overall level in international English and measure their performance against an established benchmark: the new TOEIC for entrance to Japanese university.				
授業目的・到達目標 / Course Objective This course is specifically designed for students who want to improve their overall level in international English and measure their performance against an established benchmark: the new TOEIC for entrance to Japanese university.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Introductions / Careers, Present simple / present continuous			
第 2 週/ Week 2	Professions, recruitment. Wh-questions			
第 3 週/ Week 3	Job interviews / suffixes			
第 4 週/ Week 4	Workplaces Count / Non count nouns			
第 5 週/ Week 5	Offices / Prepositions of place			
第 6 週/ Week 6	Preparing a job interview			
第 7 週/ Week 7	Cultural training for employees / How + adj / adv			
第 8 週/ Week 8	TOEIC practice test			
第 9 週/ Week 9	Participating in a discussion			
第 10 週/ Week 10	Surveillance in the workplace / Prepositions of place/ time Skimming a text			
第 11 週/ Week 11	Retailing / Shopping Comparative superlatives			
第 12 週/ Week 12	Starting a new business venture / Separable prefix			
第 13 週/ Week 13	Making a product presentation Word stress: verbs/ nouns			
第 14 週/ Week 14	A company profile / Answering tag questions			
第 15 週/ Week 15	Industry / The passive / Synonyms and antonyms			
第 16 週/ Week 16	Industrial problems / Causative verbs			
第 17 週/ Week 17	Final Exam			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Target Score / Charles Talcott, Graham Tullis / Cambridge University press				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo 習熟度によりシラバスを適用する。				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		総合英語Ⅳ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験 ()	
開講時期 Term	後期	配当年次 grade	1 年 ・ 2 年		実務経歴 / Work Experience
授業形態 Course type	講義	単位区分	選択		
授業週数 Number of Weeks	17 週	授業時間 Class Hours	2 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences This method is an active communicative approach to learning authentic international English with interactive, classroom-friendly preparation exercises and practice tests.					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This course is specifically designed for students who want to improve their overall level in international English and measure their performance against an established benchmark: the new TOEIC for entrance to Japanese university.					
授業目的・到達目標 / Course Objective The aim of this dynamic syllabus is to ready students to achieve their top score on the TOEIC® and be able to use the language skills they have learned in their professional and personal life.					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	Trade / Future forms				
第 2 週/ Week 2	Idiomatic expressions 1: point				
第 3 週/ Week 3	Markets, shipping, import / Future forms				
第 4 週/ Week 4	Leisure trends Future forms / Relative pronouns / Participles used as adjectives:				
第 5 週/ Week 5	TOEIC practice test				
第 6 週/ Week 6	Entertainment, recreation/ Indirect questions				
第 7 週/ Week 7	Money/ Talking about trends/ Phrasal verbs 1: two-part				
第 8 週/ Week 8	Progress Check				
第 9 週/ Week 9	Personal finance / Modals of possibility				
第 10 週/ Week 10	Talking about trends / Phrasal verbs 1: two-part				
第 11 週/ Week 11	TOEIC practice test				
第 12 週/ Week 12	Environment / Weather report / Indirect speech Idiomatic expressions 2: make and do				
第 13 週/ Week 13	Weather, natural resources, Reporting conversations / Reporting conversations				
第 14 週/ Week 14	Health / Health conversations /Gerund and infinitive forms/ Phrasal verbs 2: three-part				
第 15 週/ Week 15	Nutrition, medicine, fitness / third conditional				
第 16 週/ Week 16	Review				
第 17 週/ Week 17	Final test				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Target Score / Charles Talcott, Graham Tullis / Cambridge University press					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 習熟度によりシラバスを適用する。					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		ビジネス日本語演習Ⅲ		担当教員 Instructor	氏名/Name
					実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	営業および営業事務担当歴	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を演習も含めて理解する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を学び、演習で理解を深める。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
企業訪問、面接、インターンシップおよび就職内定後の実践での効果を期待する。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	1：新人を歓迎する 会話、表現				
第 2 週/ Week 2	演習				
第 3 週/ Week 3	演習				
第 4 週/ Week 4	2：仕事の引き継ぎをする 会話、表現				
第 5 週/ Week 5	演習				
第 6 週/ Week 6	演習				
第 7 週/ Week 7	3 取引先を訪問する 会話、表現				
第 8 週/ Week 8	演習				
第 9 週/ Week 9	演習				
第 10 週/ Week 10	4 営業報告会に出る 会話、表現				
第 11 週/ Week 11	演習				
第 12 週/ Week 12	演習				
第 13 週/ Week 13	前期まとめ 1				
第 14 週/ Week 14	前期まとめ 2				
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
「ビジネス日本語 中級」をベースとする。適宜、ハンドアウト配布					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ビジネス日本語演習Ⅳ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を演習も含めて理解する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 企業現場における各シチュエーションでの会話、表現を学び、演習で理解を深める。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 企業訪問、面接、インターンシップおよび就職内定後の実践での効果を期待する。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	5 職場の人とランチに行く 会話、表現			
第 2 週/ Week 2	演習			
第 3 週/ Week 3	演習			
第 4 週/ Week 4	6 家族と休みの計画を立てる 会話、表現			
第 5 週/ Week 5	演習			
第 6 週/ Week 6	演習			
第 7 週/ Week 7	7 人材紹介会社の人と会う約束をする			
第 8 週/ Week 8	演習			
第 9 週/ Week 9	演習			
第 10 週/ Week 10	8 人材紹介会社の人と面談をする			
第 11 週/ Week 11	演習			
第 12 週/ Week 12	9 面接を受ける演習			
第 13 週/ Week 13	演習			
第 14 週/ Week 14	後期まとめ			
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「ビジネス日本語 中級」をベースとする。適宜、ハンドアウト配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	文書・翻訳 I		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (☒ 有 ・ ☐ 無)
開講時期 Term	☒ 前期 ・ 後期	配当年次	1 年 ・ ☒ 2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	☒ 講義 ・ 演習 ・ 実習	単位区分	必修 ・ ☒ 選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience 実務上の対応例を用いて実践力を養う				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 使える日常表現を身につける。時に、時に冗長になりがちな日本的やり取りとの比較検討することでその違いを明確にする。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 海外人材として、日本企業内で求められる英語力のレベルアップ。特に翻訳力の養成。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	メールの基本① 一通一件の原則 過剰な謙遜や丁寧さの省略			
第 3 週/ Week 3	メールの基本② 頻出表現			
第 4 週/ Week 4	挨拶 仕事相手への自己紹介			
第 5 週/ Week 5	問い合わせ 初回・問い合わせへの返答			
第 6 週/ Week 6	サンプル送付の連絡			
第 7 週/ Week 7	商品の発注、受注			
第 8 週/ Week 8	見積書の依頼			
第 9 週/ Week 9	注文発注			
第 10 週/ Week 10	キャンセル及び再見積りの依頼			
第 11 週/ Week 11	値引き交渉			
第 12 週/ Week 12	値引きの要求にこたえる			
第 13 週/ Week 13	値引きの要求を断る			
第 14 週/ Week 14	納期の交渉			
第 15 週/ Week 15	前期のまとめ			
第 16 週/ Week 16	前期テスト実施			
第 17 週/ Week 17	テスト返却と解説			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ビジネスパーソンの英文メール術 ディスカバー出版				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40% ・ 出席状況 30% ・ 授業参加姿勢 30% により判断し、総合点により A ・ B ・ C ・ D ・ F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title		文書・翻訳Ⅱ		担当教員 Instructor		氏名/Name			
						実務経験（ 有 ・無）			
開講時期 Term		前期・ 後期		配当年次		1 年・ 2 年		実務経歴 / Work Experience	
授業形態		講義 ・演習・実習		単位区分		必修・ 選択			
授業回数 Number of Classes		17 回 / 34 回		授業時間 Class Hours		1 単位時間			
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience									
実務上の対応例を用いて実践力を養う									
授業概要（学修内容・方法） / Course Description									
使える日常表現を身につける。時に、時に冗長になりがちな日本的やり取りとの比較検討することでその違いを明確にする。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
海外人材として、日本企業内で求められる英語力のレベルアップ。特に翻訳力の養成。									
週		授業計画 / Course Schedule							
第 1 週/ Week 1		オリエンテーション							
第 2 週/ Week 2		商品不足のクレーム							
第 3 週/ Week 3		不良品のクレーム							
第 4 週/ Week 4		支払の催促							
第 5 週/ Week 5		商品不足の謝罪							
第 6 週/ Week 6		不良品についての話題							
第 7 週/ Week 7		納期遅れの謝罪							
第 8 週/ Week 8		取引先とのアポイントメント							
第 9 週/ Week 9		社内でのアポイントメント							
第 10 週/ Week 10		社内 進捗状況の報告							
第 11 週/ Week 11		社内 報告を促す							
第 12 週/ Week 12		月次営業会議の連絡							
第 13 週/ Week 13		休暇の連絡							
第 14 週/ Week 14		転勤のお知らせ							
第 15 週/ Week 15		後期のまとめ							
第 16 週/ Week 16		後期テスト実施							
第 17 週/ Week 17		テスト返却と解説							
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
ビジネスパーソンの英文メール術 ディスカバー出版									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。									
備考 / Memo									

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	業界研究Ⅲ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	各種の業界・企業からの登壇者による特別授業			
第 3 週/ Week 3				
第 4 週/ Week 4				
第 5 週/ Week 5				
第 6 週/ Week 6				
第 7 週/ Week 7				
第 8 週/ Week 8				
第 9 週/ Week 9				
第 10 週/ Week 10				
第 11 週/ Week 11				
第 12 週/ Week 12				
第 13 週/ Week 13				
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material PPT 適宜、PPT ハンドアウトや企業資料を配布。				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス 2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title	業界研究Ⅳ		担当教員 Instructor	氏名/Name 実務経験 (有 ・ 無)
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience 営業および営業事務担当歴
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	2 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	各種の業界・企業からの登壇者による特別授業			
第 3 週/ Week 3				
第 4 週/ Week 4				
第 5 週/ Week 5				
第 6 週/ Week 6				
第 7 週/ Week 7				
第 8 週/ Week 8				
第 9 週/ Week 9				
第 10 週/ Week 10				
第 11 週/ Week 11				
第 12 週/ Week 12				
第 13 週/ Week 13				
第 14 週/ Week 14	これまでのまとめ			
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、PPT ハンドアウトや企業資料を配布。				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title			インターンシップ I	担当教員	氏名/Name
				Instructor	実務経験（有）
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences	
授業形態	実習	単位区分	選択	企業実務経歴	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences					
企業活動、マーケティング活動に触れる事により、企業経営、業務を理解する。					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
ゲストスピーカーによるスピーチと質疑応答、企業事例での理解、企業現場での実務研修に参加し、企業実務を習得する。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本企業の仕組みを理解し、日本での就労に向けた就職先を確定させる力を養う。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション				
第 2 週/ Week 2	ゲストスピーカー①スピーチ&質疑応答				
第 3 週/ Week 3	ゲストスピーカー① 復習				
第 4 週/ Week 4	企業事例①による研究、議論				
第 5 週/ Week 5	企業事例②による研究、議論				
第 6 週/ Week 6	企業事例③による研究、議論				
第 7 週/ Week 7	企業事例④による研究、議論				
第 8 週/ Week 8	企業事例⑤による研究、議論				
第 9 週/ Week 9	ゲストスピーカー②スピーチ&質疑応答				
第 10 週/ Week 10	ゲストスピーカー② 復習				
第 11 週/ Week 11	実践活動に向けて 実際の企業先選定				
第 12 週/ Week 12	実践活動に向けて グループ化				
第 13 週/ Week 13	実践活動に向けて 各グループの役割分担の仮決定				
第 14 週/ Week 14	前期学習内容振り返り				
第 15 週/ Week 15	前期試験実施				
第 16 週/ Week 16	前期試験フィードバック				
第 17 週/ Week 17	後期に実践活動にむけたプランニング				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布					
成績評価 / Evaluation					
成績は、試験 40％・出席状況 30％・授業参加姿勢 30％により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス			2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	インターンシップⅡ		担当教員	氏名/Name
			Instructor	実務経験（ 有 ）
開講時期 Term	後期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences 企業実務経験
授業形態	実習	単位区分	選択	
授業回数 Number of Classes	17 回	授業時間 Class Hours	1 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 企業活動、マーケティング活動に触れる事により、企業経営、業務を理解する。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description ゲストスピーカーによるスピーチと質疑応答、企業事例での理解、企業現場での実務研修に参加し、企業実務を習得する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 日本企業の仕組みを理解し、日本での就労に向けた就職先を確定させる力を養う。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	選定先企業での実践①			
第 3 週/ Week 3	選定先企業での実践②			
第 4 週/ Week 4	選定先企業での実践③			
第 5 週/ Week 5	選定先企業での実践④			
第 6 週/ Week 6	選定先企業での実践⑤			
第 7 週/ Week 7	選定先企業での実践⑥			
第 8 週/ Week 8	選定先企業での実践⑦			
第 9 週/ Week 9	選定先企業での実践⑧			
第 10 週/ Week 10	企業からの評価結果公開			
第 11 週/ Week 11	評価内容の議論①			
第 12 週/ Week 12	評価内容の議論②			
第 13 週/ Week 13	発表準備			
第 14 週/ Week 14	発表準備			
第 15 週/ Week 15	発表準備			
第 16 週/ Week 16	インターンシップ学習内容の発表①			
第 17 週/ Week 17	インターンシップ学習内容の発表②			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 適宜、プリントや PPT ハンドアウトを配布				
成績評価 / Evaluation 成績は、企業評価 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・E・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	日本語能力試験対策Ⅲ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（ 有 ・ 無 ）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	4 単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description				
過去問題を使用した出題の傾向と対策。解答と解説を行ったうえで確認テストを行い実力を養う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
日本語能力試験 N1 レベル合格。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	語彙・文法			
第 2 週/ Week 2	聴解・読解			
第 3 週/ Week 3	語彙・文法			
第 4 週/ Week 4	聴解・読解			
第 5 週/ Week 5	語彙・文法			
第 6 週/ Week 6	聴解・読解			
第 7 週/ Week 7	語彙・文法			
第 8 週/ Week 8	聴解・読解			
第 9 週/ Week 9	語彙・文法			
第 10 週/ Week 10	聴解・読解			
第 11 週/ Week 11	語彙・文法			
第 12 週/ Week 12	聴解・読解			
第 13 週/ Week 13	語彙・文法			
第 14 週/ Week 14	聴解・読解			
第 15 週/ Week 15	前期テスト実施			
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説			
第 17 週/ Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
『新完全マスターN1 語彙』『45 日間で完全マスターN1 文法総まとめ』『ドリル&ドリル N1 聴解』 『ニュースの日本語 聴解 50』『ドリル&ドリル N1 読解』 『読解厳選テーマ 10』（中上級）『ドリル&ドリル N1 文法』『新完全マスター聴解』 N1 『試験に出る読解』 N1				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		日本語能力試験対策Ⅳ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（ 有 ・ 無 ）	
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1 年・2 年	実務経歴 / Work Experience	
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択		
授業回数 Number of Classes	17 回 / 34 回	授業時間 Class Hours	4 単位時間		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience					
授業概要（学修内容・方法） / Course Description					
過去問題を使用した出題の傾向と対策。解答と解説を行ったうえで確認テストを行い実力を養う。					
授業目的・到達目標 / Course Objective					
日本語能力試験 N1 レベル合格。					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	語彙・文法				
第 2 週/ Week 2	聴解・読解				
第 3 週/ Week 3	語彙・文法				
第 4 週/ Week 4	聴解・読解				
第 5 週/ Week 5	語彙・文法				
第 6 週/ Week 6	聴解・読解				
第 7 週/ Week 7	語彙・文法				
第 8 週/ Week 8	聴解・読解				
第 9 週/ Week 9	語彙・文法				
第 10 週/ Week 10	聴解・読解				
第 11 週/ Week 11	語彙・文法				
第 12 週/ Week 12	聴解・読解				
第 13 週/ Week 13	語彙・文法				
第 14 週/ Week 14	聴解・読解				
第 15 週/ Week 15	後期テスト実施				
第 16 週/ Week 16	テスト返却と解説				
第 17 週/ Week 17	後期全体の振り返り				
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material					
『新完全マスターN1 語彙』『45 日間で完全マスターN1 文法総まとめ』『ドリル&ドリル N1 聴解』					
『ニュースの日本語 聴解 50』『ドリル&ドリル N1 読解』					
『読解厳選テーマ 10』（中上級）『ドリル&ドリル N1 文法』『新完全マスター聴解』 N1『試験に出る読解』 N1					
成績評価 / Evaluation					
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価					
備考 / Memo					

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ビジネス日本語Ⅲ		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	4単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 企業現場での各シチュエーションでの会話、表現を演習等も含めて理解する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 企業現場での各シチュエーションでの会話、表現を演習等も含めて理解する。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	企業現場 1 会話、表現			
第2週/Week 2	演習			
第3週/Week 3	演習			
第4週/Week 4	企業現場 2 会話、表現			
第5週/Week 5	演習			
第6週/Week 6	演習			
第7週/Week 7	企業現場 3 会話、表現			
第8週/Week 8	演習			
第9週/Week 9	演習			
第10週/Week 10	企業現場 4 会話、表現			
第11週/Week 11	演習			
第12週/Week 12	演習			
第13週/Week 13	まとめ			
第14週/Week 14	まとめ			
第15週/Week 15	前期テスト実施			
第16週/Week 16	テスト返却と解説			
第17週/Week 17	前期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「ビジネス日本語 中級」をベースとする。				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2025 年度 福岡外語専門学校 シラバス

2025 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	ビジネス日本語IV		担当教員 Instructor	氏名/Name
				実務経験（有・無）
開講時期 Term	前期・後期	配当年次	1年・2年	実務経歴 / Work Experience
授業形態	講義・演習・実習	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	17回 / 34回	授業時間 Class Hours	4単位時間	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 企業現場での各シチュエーションでの会話、表現を演習等も含めて理解する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 企業現場での各シチュエーションでの会話、表現を演習等も含めて理解する。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	企業現場 5 会話、表現			
第2週/ Week 2	演習			
第3週/ Week 3	演習			
第4週/ Week 4	企業現場 6 会話、表現			
第5週/ Week 5	演習			
第6週/ Week 6	演習			
第7週/ Week 7	企業現場 7 会話、表現			
第8週/ Week 8	演習			
第9週/ Week 9	演習			
第10週/ Week 10	企業現場 8 会話、表現			
第11週/ Week 11	演習			
第12週/ Week 12	演習			
第13週/ Week 13	まとめ			
第14週/ Week 14	まとめ			
第15週/ Week 15	後期テスト実施			
第16週/ Week 16	テスト返却と解説			
第17週/ Week 17	後期全体の振り返り			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「ビジネス日本語 中級」をベースとする。				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価				
備考 / Memo				